

年報

令和元年度事業概要

No.39



公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

当事業団は、昭和53年7月に創立されて以来、群馬県内の埋蔵文化財の発掘調査および研究をおこなうとともに、埋蔵文化財保護思想の涵養と普及を図りつつ、県民文化の振興に邁進してまいりました。

平成31・令和元年度の発掘調査事業は、国土交通省関連で13遺跡(うち、八ッ場ダム関連で9遺跡)、その他公共開発関連で20遺跡の合計33遺跡の発掘調査を実施いたしました。八ッ場関連の発掘調査は最終年となりましたが、長野原町石川原遺跡や東宮遺跡では縄文時代後期から晩期にかけての大規模集落が発見されたほか、公共関連の植栗中原遺跡や下戸谷B遺跡では、縄文時代草創期の石槍製作跡が相次いで発見されました。

整理事業は八ッ場ダム関連で14遺跡、公共関連で15遺跡の合計29遺跡で実施、八ッ場ダム関連8冊と公共関連4冊の発掘調査報告書を刊行いたしました。

普及啓発事業では県主催の古墳情報発信事業、最新情報展、夏休み親子宿題教室を実施したほか、事業団自主事業として、今年度より「ぐんま考古学講座」を実施し、大勢の皆様に参加していただきました。発掘情報館開館当時から続いている『埋文群馬』や『遺跡に学ぶ』等の情報誌も、ホームページでご覧いただけるようになりました。

当事業団は、世代交代の時期にあります。元号が平成から令和に改まり、心機一転さらなる躍進を目指して踏み出したところでもあります。これからも発掘、整理、普及啓発事業を通じ、県民文化の発展に寄与してまいりたいと考えております。今後とも変わらぬご理解とご協力をいただけますことを心からお願い申し上げ、序といたします。

令和3年1月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 向田忠正

例 言

1. 本年報は、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の令和元年度の事業概要をまとめたものである。
2. 付篇は、県及び県内各市町村教育委員会の協力によって作成された資料に基づき、当事業団年報紀要委員会が編集した。
3. 本年報編集は、当事業団年報紀要委員会が行った。その構成は以下の通りである。
委員長：桜岡正信(資料部長)
年報委員：須田正久(調査1課上席専門員)
鈴木佑太郎(八ッ場ダム調査事務所資料課)
岩崎泰一(普及課専門調査役)
事務局：齊田智彦(資料1課資料統括)
鈴木真理子(総務部経理課主任)

凡 例

各遺跡の調査概要中に記載する火山噴出物の名称と年代は以下の通りである。

- ・天明泥流：1783(天明3)年の浅間山噴火に伴う泥流
- ・As-A：1783(天明3)年降下 浅間Aテフラ
- ・As-Kk：1128(大治3)年降下 浅間粕川テフラ
- ・As-B：1108(天仁元)年降下 浅間Bテフラ
- ・Hr-FP：6世紀中葉降下 榛名二ツ岳伊香保テフラ
- ・Hr-FA：6世紀初頭降下 榛名二ツ岳渋川テフラ
- ・As-C：3世紀末降下 浅間Cテフラ
- ・As-YP：1.6万年前降下 浅間板鼻黄色テフラ
- ・As-BPGroup：2.4～2.8万年前降下 浅間板鼻褐色テフラ群

目 次

序	
I 事業団の概要	
1 設立の趣旨	1
2 目的	1
3 沿革	1
4 組織・名簿	2
5 理事会及び評議員会等の開催状況	4
6 令和元年度主要行事	6
7 会計経理の状況	6
II 事業概要	
1 発掘調査事業概要	7
(1)幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査	7
(2)公共開発関連埋蔵文化財発掘調査	7
2 整理事業概要	8
(1)幹線交通関連埋蔵文化財整理事業	8
(2)公共開発関連埋蔵文化財整理事業	9
3 普及事業概要	9
(1)資料と施設の公開	9
(2)指導者の派遣	16
(3)情報誌等の刊行	17
(4)資料の保存	19
III 研究活動概要	
1 職員自主研究活動指定研究	19
IV 各遺跡の発掘調査概要	20
V 付篇	
1 令和元年度群馬県内発掘調査一覧	54
2 令和元年度群馬県内整理事業一覧	60
3 令和元年度群馬県内発掘調査報告書一覧	64
4 令和元年度群馬県内発掘調査現地説明会 ・関連行事一覧	67

I 事業団の概要

1 設立の趣旨

歴史的に古代東国文化の中心であった本県には、著名な古墳を中心に多くの遺跡が存在する。特に、我が国の旧石器文化の研究の端緒になった岩宿遺跡、榛名山噴火に被災した金井遺跡群など、本県文化の特徴を物語る遺跡の存在は県民にとって大きな誇りであり、これら文化財を共有の財産として保護し、後世に伝えていくことは、私たちに課せられた責務である。

しかし、一方では県民生活の安定向上をはかるための施策として、各種の開発や交通網の整備などが昭和48年度以降急激に増加し、その結果、開発と文化財保護が大きな社会問題となり、その対応が急務となった。

こうした背景の下で、文化財保護法の理念ののっとり、開発と文化財保護の調和を図るための施策の一環として、昭和53年度に財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が設立された。

平成24年度には「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づく公益財団法人へ移行した。

2 目的

県内の埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想の醸成と普及を図り、もって地域の文化の振興に寄与する。

3 沿革

- 昭和53年 7月15日 財団法人設立認可(事務局を前橋市に設置、業務開始)
- 昭和55年 4月 8日 事務局を勢多郡北橋村に移転
- 昭和59年 4月 1日 分室を勢多郡北橋村に設置
- 昭和61年 4月 1日 関越道上越線調査事務所を多野郡吉井町に設置
- 平成 5年 3月30日 分室を移転
- 平成 6年 3月31日 関越道上越線調査事務所を閉所
- 平成 8年 7月 1日 発掘情報館開館
- 平成13年 4月 2日 東毛調査事務所を伊勢崎市三和町に設置
- 平成14年 4月 1日 八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡中之条町に設置
- 平成15年 6月 1日 八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡長野原町に移転
- 平成17年 4月 1日 岩神分室を前橋市岩神町に設置
- 平成18年 2月20日 市町村合併により住所表示変更(渋川市北橋町下箱田)
- 平成18年 3月31日 東毛調査事務所を閉所
- 平成19年 1月28日 岩神分室を閉室
- 平成24年 3月31日 分室を閉室
- 平成24年 4月 1日 公益財団法人設立・移行
- 平成28年12月21日 八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡東吾妻町に移転
- 平成30年 7月14日 創立40周年記念式典を挙行

4 役員(理事・監事)・評議員・特別顧問名簿

(1) 理事・監事

令和2年3月31日現在

平成30年6月26日就任

役員	定款上の理事は5人以上10人以内 定款上の監事は2人以内
任期	平成30年6月26日から令和2年定時評議員会終結の時まで

役員名	氏名	役職等	備考
理事長	中野三智男	学識経験者	再任
常務理事	高草木方孝	学識経験者	再任
理事	笹澤武	群馬医療福祉大学社会福祉学部長	再任
理事	曾我孝之	県商工会議所連合会会長	再任
理事	石川克博	学識経験者	再任
理事	毛見隆	一般財団法人群馬経済研究所専務理事	令元.6.24就任
理事	神保侑史	学識経験者	再任
理事	右島和夫	県歴史博物館館長	再任
	計8名		
監事	荒木伸夫	公認会計士	再任
監事	秋池武	下仁田町歴史館館長	再任
	計2名		

(2) 評議員

平成28年6月28日就任

評議員	定款上の評議員は5人以上10人以内
任期	平成28年6月28日から令和2年定時評議員会終結の時まで

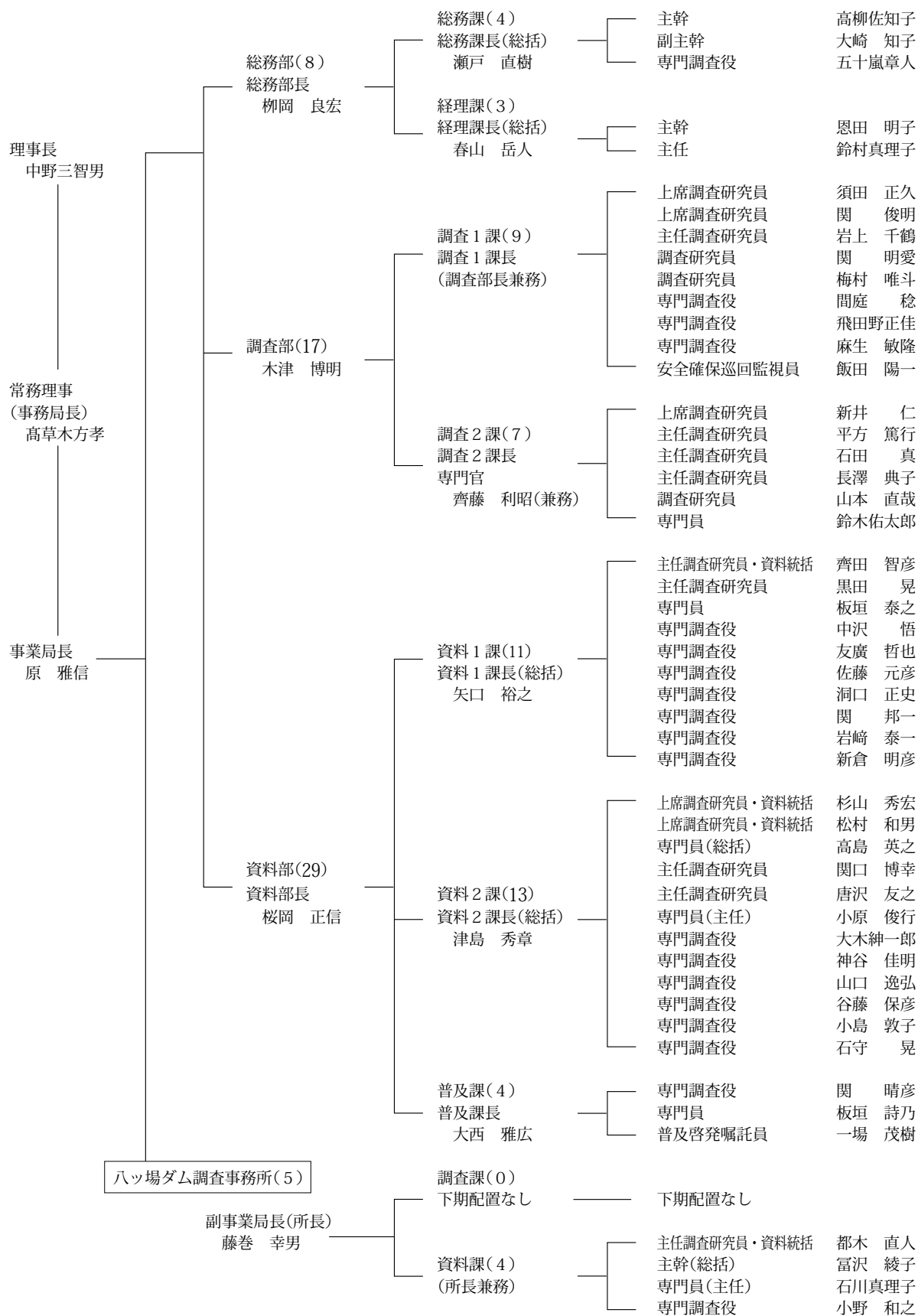
評議員	氏名	役職等	備考
評議員	関戸明子	群馬大学教育学部教授	
評議員	井上唯雄	前橋市文化財調査委員	
評議員	小田川浩道	上毛新聞社編集局文化生活部長	
評議員	吉田学	群馬テレビ報道製作局報道部次長	
評議員	田部井俊勝	ぐんま共済協同組合理事長	
評議員	西野壽章	高崎経済大学教授	
評議員	松本浩一	県文化財保護審議会専門委員	
評議員	柴野敦雄	県教育委員会文化財保護課長	令元.6.24就任
	計8名		

(3) 特別顧問

役員名	氏名	役職等	備考
特別顧問	松島榮治	前理事	H27.4.1再任
特別顧問	佐藤信	前理事	H27.4.1再任
特別顧問	小野宇三郎	元理事長	H27.4.1再任
特別顧問	高橋勇夫	元理事長	H27.4.1再任
特別顧問	森田秀策	前理事	H29.4.1再任
特別顧問	峰岸純夫	前理事	H29.4.1再任
特別顧問	須田榮一	元理事長	H30.7.1就任
	計7名		

(4) 事務局 総数62名(派遣職員27名、法人職員31名、嘱託員2名)

令和2年3月31日現在



5 理事会、評議員会及び特別顧問会議の開催状況

会議名	開催日 開催場所	現在数 出席者	議案
第133回 定例理事会	令和元年6月5日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 8 監事出席 2	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について 2 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 3 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 4 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 5 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 6 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 監査の報告について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 第62回定時評議員会の招集について 8 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)専決処分の報告について <ol style="list-style-type: none"> ア 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について イ 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団会計規程の一部改正について
第62回 定時評議員会	令和元年6月24日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 6	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 2 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 3 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 4 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 5 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 監査の報告について 6 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団評議員の選任について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事の選任について 8 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について

会議名	開催日 開催場所	現在数 出席者	議案
			(2)専決処分の報告について 平成30年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について
第135回 理事会	令和元年10月18日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席数 8 監事出席 1	1 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団就業規程の一部改正について 2 報告事項 (1)第132回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況について
評議員・理事 監事・特別顧問 合同現地視察	令和元年10月18日	参加者 11	1 群馬県立歴史博物館・近代美術館視察
第136回 理事会	令和2年3月2日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 8 監事出席 2	1 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 令和2年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 令和2年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 4 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第63回評議員会の招集について 5 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団特別顧問の委嘱について
第63回 評議員会	令和2年3月13日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 8	1 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 令和2年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 令和2年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について

6 令和元年度主要行事

4月1日	辞令交付式
6月13日～14日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会(山形県酒田市)
7月4日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会コンピューター研究会関東ブロック第1回委員会
7月13日	ぐんま考古学講座(前橋テルサ ホール)
7月21日～8月15日	夏休み親子宿題教室開催
8月6日～8日	埋蔵文化財専門講座(教員コース)開講
8月9日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック第1回協議会(栃木県小山市)
9月3日～12日	埋蔵文化財専門講座(行政コース)開講
10月5日	公開普及デー開催
11月3日	第52回長野原町文化祭(ハッ場ダム調査事務所)
11月8日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック保存処理情報交換会
11月14日～15日	関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員研修協議会(茨城県水戸市)
12月6日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会関東ブロック協議会(神奈川県横浜市)
12月12日～13日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会(京都府京都市)
1月19日	東国文化自由研究表彰式(県立歴史博物館)
2月18日	関東甲信越静地区埋蔵文化財行政担当者会議(静岡県静岡市)
3月31日	退任辞令等交付式

7 会計経理の状況

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

ア 決算額

(単位：円)

	当年度	前年度
経常収益	1,849,484,909	2,971,340,376
経常費用	1,831,226,599	2,921,797,194
経常外収益	0	0
経常外費用	196,756	0
当期一般正味財産増減額	18,061,554	49,543,182

Ⅱ 事業概要

1 発掘調査事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
委託者 国土交通省							
ハッ場ダム	1	下田遺跡他(石川原遺跡)	長野原町林(川原湯)	<下田>泥流下建物2・道3・畑・古代竪穴建物2・中・近世掘立柱建物2・土坑11 <石川原>縄文竪穴建物6・配石2・列石3・土坑96・埋葬5	28	1,562	平31.4.1～令和.6.28
	2	西久保IV遺跡	長野原町横壁	泥流下畑1・道2・掘立柱建物1・溝5・弥生土坑2・縄文土坑2	1	1,887	令和.7.16～令和.9.20
	3	川原湯勝沼遺跡	長野原町川原湯	泥流下畑・道・土坑	2	2,644	令和.7.8～令和.9.6
	4	西宮遺跡	長野原町川原畑	泥流下建物2・掘立柱建物1・道・畑・石垣・土坑・ピット	11	8,280	平31.4.1～令和.7.12
	5	東宮遺跡	長野原町川原畑	泥流下建物4・材木置場・畑・石垣・暗渠・縄文竪穴59・土坑159・埋葬15・列石5・配石16	223	4,080	令和.6.1～令和.9.30
	6	下湯原遺跡	長野原町川原湯	泥流下建物1・畑・溝4・掘立柱建物21・溝8・土坑・墓・古代竪穴建物3・竪穴状遺構2	11	9,483	平31.4.1～令和.7.8
	7	石畑遺跡	長野原町川原畑	泥流下畑・道1・石垣3	1	4,330	令和.7.17～令和.8.21
	8	石畑I岩陰遺跡	長野原町川原畑	泥流下道1、縄文早期～晩期土器	10	1,765	令和.6.3～令和.8.2
渋川西バイパス	9	金井下新田遺跡	渋川市金井	古墳竪穴建物8・祭祀1・盛土状遺構1・溝8・道3・焼土1・Hr-FA下跡跡217・FP下跡跡296、近世畑1・土坑57・溝2	35	1,495	平31.4.1～令和.7.31
前笠道路	10	柳田遺跡・多田山東遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	旧石器1、縄文竪穴建物1・土坑11、弥生竪穴建物1、古墳竪穴建物29・掘立柱建物2・方形周溝墓1、古代竪穴建物37・掘立柱建物13	78	22,781	令和.8.1～令和2.3.31
綾戸バイパス	11	棚下込山遺跡	渋川市赤城町	縄文土坑27、古墳土坑43・溝3、古代溝1	20	2,310	令和.8.1～令和.10.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
委託者 群馬県土木整備部							
前橋長瀨線	12	綿貫41遺跡・岩鼻47-3遺跡他	高崎市綿貫長他	古墳竪穴建物2・溝3・古墳4、古代溝9、中近世土坑35・溝11・井戸1	17	3,334	平31.4.1～令和.5.31
八瀬川社会資本総合整備(防災・安全社会資本整備交付金)(3か年)事業	13	浜町遺跡	太田市本町	古墳～古代竪穴建物5・土坑34、中・近世井戸1・溝1	4	955	令和.10.1～令和.10.31
伊勢崎深谷線単独道路改築事業	14	沼田遺跡	伊勢崎市北千木町	古代の竪穴建物14、古代～中・近世の溝19、中・近世土坑64・井戸1・道路1	9	2,662	令和.10.1～令和.12.31
上信自動車道吾妻西バイパス	15	根小屋城跡	東吾妻町三島	中世土坑6・堀1・柱穴15、近世溝2・墓坑4	2	3,921	平31.4.1～令和.6.30
上信自動車道吾妻西バイパス	16	松谷松下2遺跡	東吾妻町松谷	復旧孔18、泥流下畑、中近世掘立柱2・柵列3・焼土3・土坑39・溝1	4	3,890	令和.10.1～令和.11.30
三夜沢国定停車場線	17	前橋市0891遺跡	前橋市粕川町深津	古墳竪穴建物9、奈良竪穴建物8・竪穴状遺構1、土坑14・溝2、中近世溝4	11	1,385	令和.7.1～令和.8.31
三夜沢国定停車場線	18	前橋市0891遺跡(2)	前橋市粕川町深津	平安水田・溝1	1	718	令和2.1.1～令和2.1.31
西毛広域幹線道路(高崎西工区)	19	本郷満行原遺跡	高崎市本郷町	縄文竪穴建物2・土坑5、古墳竪穴建物1・古代竪穴建物52・掘立柱建物1・寺院3・土坑32・溝7・畑1、中近世土坑40・墓1・道2	151	4,926	平31.4.1～令和.8.31

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
委託者 群馬県土木整備部							
西毛広域幹線道路(高崎西工区)	20	高浜天狗原遺跡	高崎市高浜町	縄文竪穴建物4、古墳～古代竪穴建物8・土坑16・溝1	9	762	令元.12.1～令元.12.31
西毛広域幹線道路(高崎西工区)	21	下里見天神前遺跡	高崎市下里見町	古墳後期～奈良竪穴建物20・古墳1・土坑34・溝5	30	3,160	令2.1.1～令2.3.31
小平塩原線滝ノ上工区道路改良事業	22	下谷戸B遺跡	みどり市大間々町	草創期石器、縄文前期・後期竪穴建物4・土坑57・集石6・埋葬・焼土2	57	1,520	令2.2.1～令2.3.31
桐生田沼線社会資本総合整備(防災・安全)(無電柱化・重点)事業	23	桐生新町水路跡	桐生市本町	水路1、近世古銭・陶器・古瓦、近代ガラス瓶	23	105	令元.10.1～令元.12.31
梨木香林線道路改良事業	24	前畑K遺跡	桐生市新里町野	中世堀跡2・地下式土坑、中・近世土坑、古墳～古代土器片、縄文前期～後期土器片	6	439	令元.12.1～令元.12.31
古戸館林線社会資本総合整備(防災・安全)(交安・重点)事業	25	比沙門遺跡	太田市古戸町	溝17、陶磁器・瓦・木製品、洪水層から8世紀代の杯	2	2,556	令2.1.1～令2.1.31
植栗伊勢線	26	植栗中原遺跡2	東吾妻町植栗	古墳1、掘立柱建物3・柵列2・土坑32・溝3・畑3・道1・焼土1、草創期石槍製作跡1	6	3,364	令元.10.1～令元.12.31
山王赤生田線バイパス事業	27	陣谷遺跡	館林市楠町	古墳竪穴建物67・祭祀1・掘立柱建物3・溝31・土坑96	122	4,816	令元.9.1～令2.3.31
前橋玉村線バイパス	28	前橋市0635遺跡・前橋市0946遺跡	前橋市下佐鳥町他	古墳水田2・平安水田1、竪穴状遺構1・土坑7・溝55、井戸1	3	5,677	令2.1.1～令2.3.31
西毛広域幹線道路道路整備	29	安中市201遺跡	安中市下秋間	古墳1、中・近世土坑墓14・溝1	22	442	令元.8.1～令2.1.31

コンテナ数 899箱
調査総面積 105,249㎡

2 整理事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財整理事業

委託者	事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
国土交通省	ハッ場ダム	1	尾坂遺跡	長野原町長野原			令元.10.1～令元.12.31
		2	町遺跡	長野原町長野原			令元.10.1～令元.12.31
		3	東原Ⅱ遺跡	長野原町林			令2.1.1～令2.1.31
		4	横壁中村遺跡	長野原町横壁			令2.2.1～令2.3.31
		5	下田遺跡	長野原町林	第665集 下田遺跡(3)	令2.3.16	平31.4.1～令元.9.30
		6	中棚Ⅱ遺跡	長野原町林	第667集 林宮原遺跡(2) 林中原Ⅰ遺跡(2) 中棚Ⅱ遺跡(2)	令2.3.10	平31.4.1～令2.3.31
		7	石川原遺跡	長野原町川原湯			平31.4.1～令2.3.31
		8	川原湯勝沼遺跡	長野原町川原湯	第658集 川原湯勝沼遺跡(3)	令元.8.30	
		9	下湯原遺跡	長野原町川原湯	第666集 下湯原遺跡(2)	令2.3.10	平31.4.1～令2.3.31
		10	西宮遺跡	長野原町川原畑			平31.4.1～令2.3.31
		11	東宮遺跡	長野原町川原畑			平31.4.1～令2.3.31
		12	三平Ⅰ遺跡	長野原町川原畑	第664集 三平Ⅰ遺跡(2)	令2.2.21	平31.4.1～令元.7.31
		13	石畑遺跡	長野原町川原畑			令元.12.1～令2.3.31
		14	二社平遺跡	長野原町川原畑			令元.12.1～令2.9.30

(2) 公共開発関連埋蔵文化財整理事業

委託者	事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
県土整備部	令和元年度(一)南新井前橋線2期工区道路改築事業(地方道・連携)	15	前橋市0107遺跡	前橋市池端町			令2.1.1～令2.3.31
	令和元年度(主)西毛広域幹線道路(高崎西工区)	16	下芝内出畑遺跡・和田山天神前2遺跡	高崎市箕郷町下芝他	第660集 下芝内出畑遺跡・和田山天神前2遺跡	令元.12.19	令元.10.1～令元.10.31
	榛名南麓2期地区農山漁村地域整備	17	中室田岩城遺跡	高崎市中室田町	第659集 中室田岩城遺跡	令元.11.26	令元.5.1～令元.9.30
	(国)353号金井バイパス(上信自動車道)道路改築事業(国道・連携)	18	金井下新田遺跡	渋川市金井			令2.2.1～令3.3.31
		19	金井東裏遺跡	渋川市金井	第661集 金井東裏遺跡(11区他)	令2.2.21	刊行のみ
	平成31年度補助公共社会資本総合整備(防災・安全)(交安・重点)(主)藤岡本庄線(中栗須工区)	20	藤岡市22包蔵地	藤岡市中栗須	第663集 中栗須邸前遺跡(22包蔵地)	令2.3.10	平31.4.1～令2.1.31
	令和元年度補助公共社会資本総合整備(広域・長野)(一)下高尾小畑線庭谷工区	21	富岡市T007遺跡	富岡市後賀			令2.2.1～令3.3.31
	平成31年度西毛広域幹線道路	22	大島田Ⅱ・沼田遺跡	安中市下秋間	第657集 大島田Ⅱ遺跡 沼田遺跡	令元.7.3	平31.4.1～平31.4.30
		23	安中市0334遺跡	安中市安中			平31.4.1～令2.3.31
	上信自動車道 吾妻西バイパス建設事業	24	唐堀遺跡	東吾妻町三島			平31.4.1～令2.3.31
		25	四戸遺跡	東吾妻町三島	第668集 四戸遺跡	令2.3.16	平31.4.1～令2.3.31
		26	四戸の古墳群	東吾妻町三島			平31.4.1～令2.3.31
		27	唐堀C遺跡	東吾妻町三島			平31.4.1～令2.3.31
経産部	コンベンション施設整備事業	28	高崎競馬場遺跡	高崎市岩押町			平31.4.1～令2.3.31
管財課	県立太田高等特別支援学校普通科棟(重複障害)増築建築整備	29	条里制水田想定地	太田市藤阿久町	第662集 条里制水田想定地	令2.2.25	令元.11.1～令元.12.31

刊行報告書 合計12冊

3 普及事業概要

(1) 資料と施設の公開

ア 資料の利用と貸出

当事業団では、群馬県埋蔵文化財調査センターが所蔵する考古資料の貸出や利用に係る事務を群馬県教育委員会より受託している。資料の貸出は、各種の学校や博物館等の公的機関による展示公開や教育への利用を目的とした資料借用申請を受けて行われている。また、資料の利用とは、学術目的で、公庫資料の実見、観察、写真撮影、実測等を当センター内において行うことを言う。令和元年度の実績は、以下の表のとおりである。

(ア) 資料の利用と貸出数

内 訳	貸出・利用			利 用		
	件 数	写真等	遺 物	件 数	写真等	遺 物
1 博物館・資料館等	40	82	1,226	11	7	338
2 学 校	23	8	118			
3 地域社会	2	2				
4 公的編纂事業	2	3				
5 埋蔵文化財行政	15	121	191	8	1	534
6 委託者						
7 民間事業所	3	34		1		648
8 研究者	7	85	76	29		3,637
9 報道関係	3	6		1	2	
10 出版社	18	35		1		1
11 行 政	12	79	23	3		5
小 計	125	455	1,634	54	10	5,163
合 計	貸出・利用=179件、写真等465点、遺物6,797点					

(イ) 資料の主な貸出先

貸出先	期間	企画等	主な貸出資料
群馬県立あさひ特別支援学校	令和. 4. 15 ～令和. 4. 26	中学部3年生の調べ学習の授業で使用	三原田遺跡ほか学校貸出資料・波志江中野面・中屋敷遺跡写真データ
NHK大阪放送局制作部	令和. 4. 23 ～令和. 5. 29	歴史秘話ヒストリアー古墳時代の天下統一プロジェクト(仮)2019年5月30日放映に使用	吹屋中原遺跡写真データ
館林市教育委員会	令和. 5. 7 ～令和. 6. 30	『館林市史教材版ー館林の歴史ー』に転載	同道遺跡写真データ
渋川市教育委員会	令和. 5. 16 ～令和. 5. 31	渋川市レンタサイクル「あじサイクル」ルートマップに掲載	金井東裏遺跡写真データ
朝日新聞前橋総務局	令和. 6. 1 ～令和. 6. 7	2019. 6. 7付朝日新聞群馬版の記事に使用	金井東裏遺跡写真データ
群馬県立歴史博物館	令和. 6. 24 ～令和. 9. 22	開館40周年記念第99回企画展「集まれ!ぐんまのはにわたちー日本一の埴輪県ー」展示のため	鏡石古墳・伊勢山・多田山古墳群・下郷・少林山台・神保下條・下高瀬上之原遺跡出土資料
藤岡市教育委員会	令和. 7. 23 ～令和. 9. 19	藤岡歴史館夏季企画展展示	七興山古墳出土資料
公益財団法人竹中大工道具館	令和. 7. 26 ～令和. 9. 25	企画展「木工藝 清雅を標にー人間国宝 須田賢司の仕事ー」への展示	東宮遺跡出土資料
福島県立博物館	令和. 9. 2 ～令和. 12. 9	企画展「あにまるずーどうぶつの考古学ー」で展示	新保田中村前・金井東裏遺跡出土資料
埼玉県立嵐山史跡の博物館	令和. 11. 7 ～令和2. 2. 28	埼玉県立嵐山史跡の博物館令和元年度企画展「戦国大名は如何にして軍需を調達したか」における展示	城平遺跡出土資料
公益財団法人瀬戸市文化振興財団	令和. 9. 12 ～令和. 12. 26	令和元年度瀬戸市文化振興財団企画展『陶器生産の変革ー江戸中期の瀬戸生産と美濃窯』展示のため	二之宮千足・二之宮宮東・荒砥北三木堂・綿貫原北・田口上田尻遺跡出土資料
八崎第三自治会	令和. 9. 18 ～令和. 11. 30	八崎地区史跡案内図に使用	房谷戸遺跡写真データ
株式会社吉川弘文館	令和. 10. 23 ～令和2. 1. 31	三谷芳幸著・吉川弘文館発行『大地の古代史』(仮)に本文挿図に掲載のため。	内匠日向周地遺跡写真データ
株式会社歴史の杜	令和. 11. 7 ～令和. 11. 24	(株)歴史の杜発掘作業員の集いで使用	長野原一本松・横壁中村・東宮・三平他遺跡写真データ
群馬県生活文化スポーツ部文化振興課	令和. 11. 14 ～令和2. 3. 31	本県出土の質の高い埴輪を紹介する冊子「群馬HANI一本」に掲載(109追加)	大道西・上栗須寺前遺跡写真データ
岩宿博物館	令和. 12. 23 ～令和2. 1. 7	岩宿遺跡発掘70周年特別展(70回)『岩宿遺跡と群馬の考古学』に展示及び図録等に利用	下触牛伏・房谷戸・三原田遺跡ほか遺跡写真データ・出土資料
長野原町	令和2. 1. 7	ハッ場ダムPR動画	長野原一本松・林中原・上郷岡原遺跡写真データ
株式会社小峰書店	令和2. 3. 6 ～令和2. 4. 7	『明日の防災に活かす 災害の歴史』(全5巻)の1巻に掲載	金井東裏・同道遺跡写真データ
株式会社悠工房	令和2. 3. 10 ～令和2. 4. 1	株式会社教育同人社発行『社会科資料集6年』に掲載	三ツ寺I遺跡写真データ
株式会社丹青社	令和2. 3. 18 ～令和2. 9. 30	長野原町「やんば天明泥流ミュージアム」の展示映像素材として加工・合成を行う	東宮遺跡写真データ

イ 施設の利用

(ア) 施設の見学等

令和元年度における発掘情報館の見学や研修等の来館者総数は11,320人を数えた。うち、日曜開館時の来場者は3,380人を数えた。

毎年開催している「夏休み親子宿題教室」は、令和元年度も7月24日から8月15日の間に開催され、3,743人の来場者があり、例年通り、連日多くの来場者があり盛況であった。

月別の来場目的別来場者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
見学	402	456	616	1,652	3,008	623	982	509	306	247	346	84	9,231
資料調査等	7	23	17	18	18	26	25	19	27	10	23	4	217
行政視察	1	0	0	2	0	0	2	10	0	0	0	0	15
研修	0	0	86	0	22	133	0	0	54	0	73	0	368
学校・教委	189	121	52	126	11	10	77	3	16	8	6	1	620
図書	77	58	80	88	95	83	66	75	67	80	76	24	869
計	676	658	851	1,886	3,154	875	1,152	616	470	345	524	113	11,320

(イ) 図書室の利用

図書の利用状況は、貸出総数3,451冊、外部利用者461人であった。新規図書受入数は2,342冊であり、蔵書総数は127,075冊となった。安定的な図書の受入および利用が継続しているところであるが、図書室の配架状況は徐々に限界に近づきつつあるのが現状である。

貸出状況

内部貸出	421件	1,489点
外部貸出	461件	1,962点
貸出総数	882件	3,451点

図書等登録状況

新規登録数	2,342点	
登録内訳	移管	144点
	寄贈	1,906点
	購入	292点
収蔵量	127,075点	

図書室収蔵量の推移

事業年度	累計点数	増減分
平成27年度末	116,647点	-9,156点
平成28年度末	119,624点	2,977点
平成29年度末	122,296点	2,672点
平成30年度末	124,733点	2,437点
令和元年度末	127,075点	2,342点

※平成27年度、新規登録3,154点－除籍(長野原町教委・昭和村教委へ) 12,310点＝-9,156点

新規収蔵資料の概要

埋蔵文化財発掘調査報告書	62.51%
市町村誌等	0.13%
一般文化財・民俗関係	0.56%
埋蔵文化財・考古学に関連する雑誌類および各機関の紀要・年報・ニュースレター等	30.36%
埋蔵文化財・考古学および歴史等に関連する単行本・全集・展示図録等	5.94%
辞典・図鑑・地図等	0.51%

計100.00%

ウ 行事

(ア) 最新情報展

期 間	令和元年5月26日(日)～令和2年4月12日(日)
主 催	群馬県教育委員会
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館資料展示室
展 示	第1期 「ハッ場の縄文時代」
	期 間：令和元年5月26日(日)～令和元年10月20日(日) (来場者7,870人)
	関連講座：令和元年6月23日(日) ギャラリートーク 講師：藤巻幸男(参加者40人)
	第2期 「天明泥流に被災した村」
期 間：令和元年11月10日(日)～令和2年4月12日(日) (来場者1,904人)	



令和元年度 最新情報展ポスター

(イ) 埋蔵文化財専門講座

期 間	令和元年8月6日(火)～令和元年9月12日(木)		
主 催	群馬県教育委員会		
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団		
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター		
対 象	①県内公立学校に勤務する教員 ②市町村教育委員会の文化財関係職員		
内 容	①埋蔵文化財の調査成果を年間の学習指導計画の中に取り入れて学校教育の展開に幅を持たせ、地域の身近な教材を活用する視点の育成と基礎知識の充実を図る。 ②埋蔵文化財の知識と技術を研修し、市町村の埋蔵文化財と調査体制及び学校教育と生涯学習の資質向上に資する。		
教員コース	8月6日(火)	開講式 講義1：授業で使える埋蔵文化財Ⅰ 講義2：授業で使える埋蔵文化財Ⅱ 講義3：発掘情報館の体験学習	文化財保護課 梅村唯斗 岩上千鶴 一場茂樹
	8月7日(水)	講義4：火打ち体験から列島の誕生へ 講義5：「東国文化副読本」を読んで本物を見よう 施設見学	大西雅広 県歴史博物館 深沢敦仁 関 晴彦
	8月8日(木)	実 習：整理作業体験実習	大西雅広
埋蔵文化財担当者コース	9月3日(火)	開講式 講義1：文化財保護法と埋蔵文化財保護行政 講義2：発掘調査のマネジメントと安全対策 講義3：石器の基礎知識と資料の取扱い	文化財保護課 飯森康広 文化財保護課 飯森康広 木津博明 津島秀章
	9月4日(水)	講義4：縄文土器の基礎知識と資料の取扱い 講義5：脆弱遺物の取扱い 講義6：施釉陶器の基礎知識と資料の取扱い	山口逸弘 板垣泰之 神谷佳明
	9月5日(木)	講義7：補助金の取扱い 特 講：地盤工学と発掘調査	文化財保護課 川口 亮 群馬大学教授 若井明彦

埋蔵文化財 担当者コース	9月10日(火)	講義8：石造物の基礎知識と資料の取扱い 講義9：弥生土器の基礎知識と資料の取扱い 講義10：報告書作成に関するデジタル編集の基礎知識	新倉明彦 大木紳一郎 齊田智彦
	9月11日(水)	実習① 接合	矢口裕之
	9月12日(木)	実習② 実測	神谷佳明



埋蔵文化財専門講座 教員コース



埋蔵文化財専門講座 担当者コース

(ウ) 夏休み親子宿題教室

期 間	令和元年7月21日(日)～令和元年8月15日(木)
主 催	群馬県教育委員会
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館
対 象	小・中学校 児童・生徒及び保護者
内 容	縄文土器・ハニワ・勾玉作り
参加者	2,888人

夏休み親子宿題教室 チラシ



みんなの縄文土器コンクール



群馬古墳フェスタ2019

(エ) 古墳情報発信事業

主 催	群馬県、群馬県教育員会、群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
事 業	群馬古墳フェスタ2019
期 間	令和元年6月2日(日)
場 所	前橋市大室公園
内 容	カラー粘土勾玉作り・円筒埴輪作りコーナーの運営
来 場 者	570人(イベント来場者数 28,000人)

(オ) 埋蔵文化財講座

期間・時間	令和元年6月9日(日)～令和2年2月9日(日) 全5回、各回とも13:00～15:00	
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館研修室	
内 容	5回連続の有料講座(定員120名)	
テ ー マ	ぐんま発掘発掘玉手箱シリーズ6	
第 1 回	6月9日(日)	「教科書を変えた群馬の発掘」 講師：新倉明彦(参加者86人)
第 2 回	9月1日(日)	「古墳人、現る 金井東裏遺跡の奇跡 復元面の背景を語る」 講師：桜岡正信(参加者69人)
第 3 回	10月6日(日)	「古墳時代の須恵器 須恵器からみた金井東裏遺跡」 講師：藤野一之(坂戸市教育委員会)(参加者69人)
第 4 回	12月15日(日)	「縄文土器の変化する文様と意味」 講師：石田 真(参加者53人)
第 5 回	令和2年2月9日(日)	「複雑に混じり合う縄文土器 縄文中期前半の土器について」 講師：山口逸弘(参加者73人)
参加者	延べ350名	

(カ) ぐんま考古学講座

日 時	令和元年7月13日(土) 10:20～15:00
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	前橋テルサ ホール
講 師	若狭 徹(明治大学准教授)
演 題	「金井東裏遺跡から読み解く東国古墳時代の実像」
参加者	283人



ぐんま考古学講座



ぐんま考古学講座(講師 若狭 徹先生)

(キ) 公開普及デー

日時	令和元年10月5日(土) 9:00~16:00
主催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会場	群馬県埋蔵文化財調査センター
内容	県民向けの施設と業務公開を目的に隔年で実施。見学に加え屋外会場を含めて古代体験コーナーを開設した。
テーマ	「見る！知る！触れる！」
参加者	363人

(ク) 写真展

日時	令和元年10月5日(土)~令和2年3月8日(日)
主催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館遺跡情報室
テーマ	「写真で見るハッ場ダム26年の発掘調査」

(ケ) 大人のための冬の古代体験教室

日時	令和元年12月3日(火)~令和2年3月10日(火)
主催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
内容	トンボ玉作り：令和元年12月3日(火)、12月16日(月)、 令和2年1月8日(水)、1月23日(木)、2月13日(木)、2月26日(水)
	銅鏡レプリカ作り ：令和元年12月5日(木)、12月12日(木)、令和2年1月14日(火)、 1月21日(火)、2月5日(水)、2月12日(水)、3月3日(火)、3月10日(火)
	アンギン編み：令和元年12月18日(水)、令和2年1月30日(木)
	ミニチュアレプリカ作り ：令和元年12月11日(水)、 令和2年1月16日(木)、1月28日(火)、2月18日(火)
参加者	46人



公開普及デー チラシ



大人のための冬の古代体験教室 チラシ

(コ) 土器・土偶をつくる 焼く(野焼き体験)

日時	土器製作：令和元年8月25日(日)～10月17日(木) 野焼き体験：令和元年11月17日(日)
主催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
内容	説明会「土器と土偶のはなし」 谷藤保彦 縄文時代の土器と土偶を学び、製作・乾燥を経て、野焼きを体験する。
参加者	15人



土器・土偶をつくる 焼く(野焼き体験)



土器・土偶をつくる 焼く(野焼き体験)

(2)指導者の派遣

ア 学校へ体験学習の講師派遣

実施日	学 校	内 容	学 年	人 数
6月11日	藤岡市立特別支援学校	土器作り	6年生	18名(児童12、担任6)
6月27日	伊勢崎市立名和小学校	土器作り	6年生	60名(児童58、担任2)
6月28日	伊勢崎市立北第二小学校	土器作り	6年生	34名(児童33、担任1)
7月4日	伊勢崎市立宮郷第二小学校	土器作り	6年生	142名(児童138、担任4)
7月5日	前橋市立月田小学校	親子で勾玉作り	6年生	31名(児童15、保護者15、担任1)
7月9日	伊勢崎市立あずま小学校	土器作り	6年生	106名(児童103、担任3)
8月6日	玉村町立中央小学校	勾玉作り	3～6年生	20名(児童18、保護者2)
10月11日	高山村立高山小学校	土器作り	6年生	49名(児童24、保護者24、担任1)
				計460名

イ その他

自治体や市民グループ、公民館、博物館・資料館等が主催する講演会・講座・講習会等や、学会・研究会等へ、依頼を受けて職員を講師として派遣した。その実績は下記のとおりである。

実施日	依 頼 者	内 容・演 題	派 遣	受 講 者
4月26日	伊勢崎市三郷文化財研究会	浅間焼けについて	関 俊明	30人
11月23日	昭和村公民館	勾玉作り	大西雅広	20人
1月26日	清里地区学習奨励員連絡協議会	金井東裏遺跡の最新情報	大木紳一郎	30人
				計80名

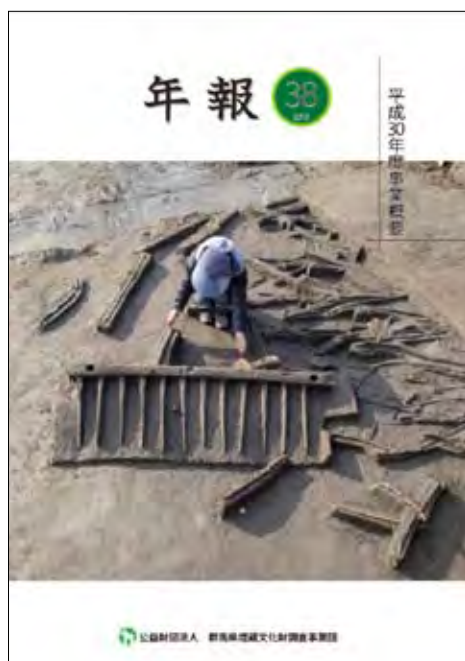
(3)情報誌等の刊行

ア 『年報』38 令和元年12月26日発行

号	頁	内 容
38	1	I 事業団の概要 1 設立の趣旨 2 目的 3 沿革 4 組織・名簿 5 理事会及び評議員会等の開催状況 6 令和元年度主要行事 7 会計経理の状況
	8	II 事業概要 1 発掘調査事業概要 2 整理事業概要 3 普及事業概要
	20	III 研究活動概要 1 職員自主研究活動指定研究
	21	IV 各遺跡の調査概要
	61	V 付篇 1 令和元年度群馬県内発掘調査一覧 2 令和元年度群馬県内整理事業一覧 3 令和元年度群馬県内発掘調査報告書一覧(事業団分含む) 4 令和元年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事等一覧
表紙		出土した古代の木製馬鍬(陣屋遺跡 館林市楠町)

イ 『研究紀要』38 令和2年3月16日発行

号	頁	論 文 名	執 筆 者
38	1	後期旧石器時代の石器製作技術の変化と古環境変遷の対応の解明に向けて —関東平野北西部における古環境分析を中心に—	小原俊行
	21	布目式土器の周縁 —群馬県内への広がり—	谷藤保彦
	31	群馬県における弥生時代後期の土器について	大木伸一郎
	51	邪馬台国の時代と東国 —在出土器の変遷と人の移動の視点から—	友廣哲也
	67	四戸古墳群について —群馬大学調査資料の紹介—	杉山秀宏
	87	東アジア出土の板状チャター族弦楽器から見た大陸と列島の楽器認識 —中国の瑟とやまと琴の形態の比較を通して—	石守 晃
	99	古代中国の牛馬耕と犁・マグワ	齋藤英敏
	115	埋蔵文化財調査成果の学校教育への活用について —発掘情報館の有効活用へ向けた「まいぶんワークシート」の提案—	梅村唯斗・山本直哉



ウ 『埋文群馬』65 令和2年3月19日発行

号	頁	内 容	編集スタッフ
65	表紙	中室田岩城遺跡出土の弥生土器	
	2	本郷満行原遺跡 —古代の寺院関連遺構と多彩な出土遺物—	長澤典子
	4	岩鼻47-1遺跡・岩鼻47-3遺跡 —かつて存在した古墳群—	麻生敏隆
	6	米山遺跡 —駅家や郡衙を支えた古代の大集落—	飯田陽一
	8	富岡市T0007遺跡 —古墳の概要と8号墳の出土遺物—	新井 仁
	10	中栗須邸前遺跡 —にぎり鉸—	友廣哲也
	11	中室田岩城遺跡 —室田地区初の敷石竪穴建物(縄文)、弥生時代前～中期の土器—	高島英之
	裏表紙	揭示板	

エ 『遺跡に学ぶ』43 「金井遺跡群 授業に使える古墳時代の‘なぜ?’」 令和元年11月8日発行

号	頁	内 容	執筆者
43	表紙	金井遺跡群航空写真	
	2	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団ってどんなところ?	普及課
	5	金井遺跡群から学ぶ 授業に使える‘なぜ?’	板垣詩乃 関 明愛 岩上千鶴 梅村唯斗 山本直哉
	21	編集後記～実は身近な発掘調査、私たちは遺跡の上に住んでいる～	普及課
	裏表紙	information	普及課



オ ホームページの運営

当事業団ホームページでは、発掘調査・整理遺跡の最新情報や各種イベントの情報について積極的に広報をおこなってきました。

平成30年度にはホームページのリニューアルをおこないましたが、できるだけ早く、正しい情報がお伝えできるような心がけていきたいと考えています。



当事業団ホームページ トップ画面

(4)資料の保存

保存処理の仕事

対象	作業項目	対象遺跡	数量
金属製品	金属製品クリーニング作業	14遺跡	766点
	X線写真撮影	31遺跡	1,156点
木製品関係	木製品真空凍結乾燥処理	7遺跡	725点
	樹種同定	0遺跡	0点
現場対応	遺物取り上げ	1遺跡	2点
特殊遺物	特殊遺物精査	2遺跡	2点
	脆弱遺物クリーニング	2遺跡	2点
遺物修復	金属製品修復	1遺跡	8点
	脆弱遺物強化処理	1遺跡	1点
市町村対応	金属製品クリーニング	1遺跡	4点
	X線撮影	1遺跡	9点
	赤外線写真撮影	1遺跡	2点
	遺物取り上げ	1遺跡	1点
	保存処理指導	1遺跡	1点
		計64遺跡	計1,954点

Ⅲ 研究活動概要

1 令和元年度職員自主研究活動指定研究

令和元年度の職員自主研究活動事業の指定は下記の8件であった。

No.	氏名	研究課題
1	高島英之	多胡碑建立の目的について
2	杉山秀宏	金井東裏遺跡出土遺物の研究(鉄器・玉類・石製模造品・鹿角製品他について)
3	友廣哲也	邪馬台国の時代と東国社会
4	洞口正史	ハッ場地域天明泥流下畑調査の基礎的分析
5	小原俊行	後期旧石器時代前半期の台形様石器Ⅱ類の特殊化と当該期集団の居住形態について
6	石守 晃	古代東アジアのチター属弦楽器の精度について －東アジアの出土弦楽器の形態比較を通じた検討－
7	梅村唯斗 山本直哉	埋蔵文化財調査成果の学校教育への活用について －発掘情報館の有効利用へ向けた「まいぶんワークシート」の提案－
8	板垣泰之	江戸時代の県内出土遺物の自然科学分析

IV 各遺跡の発掘調査概要



令和元年度 調査遺跡位置図

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1 西久保IV遺跡 | 12 植栗中原遺跡 | 23 岩鼻47-3遺跡 |
| 2 下田遺跡 | 13 金井下新田遺跡 | 24 前橋市0891遺跡 |
| 3 西宮遺跡 | 14 棚下込山遺跡 | 25 前畑K遺跡 |
| 4 東宮遺跡 | 15 高浜天狗原遺跡 | 26 多田山東遺跡 |
| 5 石畑I岩陰 | 16 本郷満行原遺跡 | 27 柳田遺跡 |
| 6 石畑遺跡 | 17 下里見天神前遺跡 | 28 沼田遺跡 |
| 7 石川原遺跡 | 18 安中市0201遺跡 | 29 下戸谷B遺跡 |
| 8 川原湯勝沼遺跡 | 19 前橋市0946遺跡 | 30 桐生新町水路跡 |
| 9 下湯原遺跡 | 20 前橋市0635遺跡 | 31 浜町遺跡 |
| 10 松谷松下2遺跡 | 21 綿貫41遺跡 | 32 比沙門遺跡 |
| 11 根小屋城跡 | 22 岩鼻47-1遺跡 | 33 陣屋遺跡 |

にしくぼよん 1 西久保IV遺跡

所在地 長野原町横壁

担当者 関 俊明・梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川右岸に広がる中位段丘が川の蛇行で浸食され、舌状に張り出した台地上に立地する。地形は南から北に向かって緩やかに傾斜するが、調査区西側では、西側の段丘崖に向かって緩やかに傾斜する。調査区内の標高は591～600mである。

調査の概要

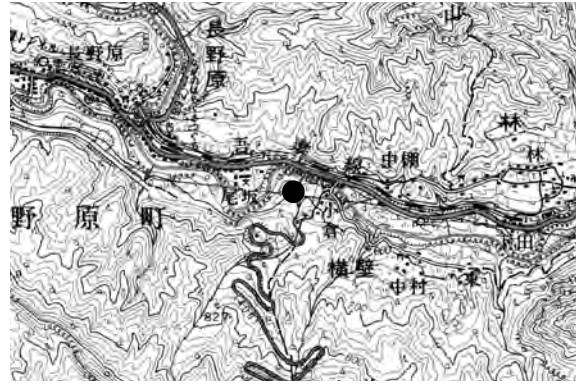
本調査はハッ場ダム建設に伴う発掘調査であり、平成21・23年度に発掘調査が実施されている。本年度の調査は、1,887㎡の範囲が調査対象地となった。調査期間は7月から9月の2か月間であった。

縄文時代～古代 掘立柱建物1棟、溝5条、土坑19基、ピット29基を検出した。掘立柱建物は2間×3間で、桁行は東西方向を向き、北面側に出入口を有する構造であった。検出された溝は等間隔に等高線に並行して走向しているが、溝は浅く詳細は不明である。土坑は19基検出され、そのうち縄文時代に帰属するものが2基、弥生時代に帰属するものが2基であった。弥生時代の土坑からは多量の土器片類が出土した。

近世(天明3年) 調査区西部および北部ではAs-Aの堆積が確認されているが、調査区北部では天明泥流によって押し流された礫で抉られた痕跡(凹み)が各所で検出された。

調査区南部では畑の一部を検出した。畑は等高線に沿うような形で延びていた。また、畑の通路と推測される道が2本検出された。

(梅村唯斗)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



遺跡遠景(北から)



調査区西部1面(天明3年)(東から)



調査区南部2面(縄文時代～古代)(東から)

2 ^{しもだ}下田遺跡

所在地 長野原町林

担当者 石田 真・山本直哉

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川左岸にあり、川の浸食で舌状に張り出した河岸段丘上に立地する。遺跡西端部には吾妻川に流れ込む沢があり、遺跡地内に沢から流出した土砂によって形成された小規模な扇状地地形が認められる。

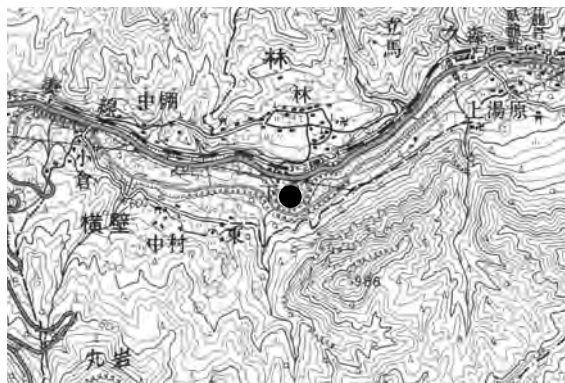
調査の概要

平成25年度の発掘以来、本遺跡では継続的に発掘調査が行われ、大半の報告が済んでいるが、本年度は調査からもれていた旧国道145号線部分の884㎡を発掘調査した。

平安時代～中世 竪穴建物2棟、掘立柱建物2棟、土坑11基等が検出された。竪穴建物は一辺が3～4m程の規模である。構築材に垂角礫を用いた石組竈が北壁に設けられていた。掘立柱建物の規模は2間×3間であった。

近世(天明3年) 天明泥流下から建物2棟、道3本、畑が検出された。屋敷地から道を挟んだ畑内の一角では1棟の蔵が確認できた。蔵は、傾斜地を平坦にならすため50cm大の礫を土留めとして低い側に2段程度積み上げ造成を行い、その上に幅30cm前後、長さ1m前後の角柱状に割られた石を並べて基礎としていた。基礎の石の一部には、石割した痕跡である矢穴や、鑿による加工痕が側面に認められた。内部からは根太と呼ばれる床板下部に渡された材の圧痕が検出された。

(山本直哉)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



平安時代の竪穴建物(南から)



近世の調査区全景(上空から 上が北)



近世の蔵の基礎部分(東から)

にしみや 3 西宮遺跡

所在地 長野原町川原畑

担当者 関 俊明・梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川左岸の段丘上にあり、JR吾妻線の旧川原湯温泉駅から西へ約1kmの地点に位置する。遺跡の標高は、約535～540mである。

調査の概要

本遺跡では、平成27年度から継続的に発掘調査を実施しているが、本年度は昨年度からの継続部分である9区と旧長野原町道下の11区、旧国道145号部分の12区、旧吾妻線敷設部分の13区を調査した。調査面積は8,280㎡、期間は4月～7月である。

縄文時代～古代 12区西部や13区では、ピットや土坑群を検出した。土坑群の中には検出面からの深さが1mに達する陥し穴も確認した。

近世(天明3年以前) 11区では建物や水田を検出した。水田は畦が良好な状態で残存しており、地形の高低に合わせて段が設けられていた。

9区や12区では、隣接した調査区で検出されていた畑の続きを検出した。

近世(天明3年) 9区・11～13区では、過年度調査で確認されていた畑や、その畑を縦断する形で南北に走行する両側に排水機能をもたせた側溝を伴った道の続きを確認した。11区では遺跡内の集落の幹線道路となった道や、集落の段差を解消するための3重に廻らされた石垣、過年度調査で確認されていた主屋(土台建物)の残り、畑、ヤックラ等を検出した。畑は畝の走向が東西に延びていた。畑の南側に関してはAs-Aが降下した後、畑を回復させるための鋤き込み作業が行われていた。12区東部では、東西方向の畑やその畑の中央を地形の微妙な起伏を地境として流下していた水路、道等を確認した。

(梅村唯斗)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



遺跡遠景(西から)



11区1面目(天明3年)東部全景(上が北)



近世と縄文時代～古代の調査区全景(上が北)

ひがしみや 4 東宮遺跡

所在地 長野原町川原湯

担当者 関 俊明・石田 真・関 明愛
小原俊行・梅村唯斗・山本直哉
麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は、高間山南東麓の尾根である久森嶺の東側に位置する。「ハッ場大橋」付近の吾妻川左岸の標高530mほどの河岸段丘上に立地する。

調査の概要

平成31年度ハッ場ダム建設工事に伴う発掘調査で、3,284㎡を調査した。

縄文時代 中期末から後期初頭の竪穴建物が59棟検出された。その多くは石囲炉を伴う敷石建物であった。一部の竪穴建物では、炉の中心に土器を埋設していた。また、竪穴建物の床面からは人頭大の大きさの扁平な円礫のほか、握り拳程度の大きさの円礫が検出された。これらの礫はいずれも床面に敷き詰められたものと推定される。また、後期の列石が5列検出された。列石は人頭大以上の大きさの円礫が弧状に配置されており、配石遺構や立石を伴う張出部が付随していた。列石中からは石皿や磨石、石棒、凹石等が出土した。また、列石の上段からは敷石建物が付帯して検出された。

近世 溝2条が検出された。いずれの溝も隣接する調査区において既に検出されていた溝の延長であることが確認された。

近世(天明3年) 天明泥流堆積物下から建物4棟、溝4条、暗渠1条、石垣1列、材木置場1か所、畑、復旧坑が検出された。溝の側面には石組や木組みが設置されていた。溝に付随するかたちで木組みの暗渠が検出された。5号建物の建物外側からは、集積されていたと推定される材木群が検出された。検出された木材の多くは未加工品であったが、先端Y字状のものなどが認められた。また、5号建物に隣接して木材置場が検出された。(小原俊行)



国土地理院 5万分の1 地形図「草津」使用



縄文時代の敷石建物(西から)



久森嶺と縄文時代後期の列石(東から)



近世(天明3年)の建物と材木群(写真上が北)

5 石畑 I 岩陰

所在地 長野原町川原湯

担当者 石田 真・山本直哉

遺跡の立地

本遺跡は、長野原町と東吾妻町の町界から600mほど吾妻川を遡った左岸に位置する。岩陰は南向きに開口し、岩陰と吾妻川の間には旧JR線路と旧国道が吾妻川に沿って東西に走っていた。標高は岩陰部で約519m、国道部で約509mである。昭和53年に群馬県教育委員会による発掘調査が実施されており、縄文時代の土器や獣骨等が出土している。

調査の概要

調査は八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査である。今年度は旧吾妻線鉄道敷部(B区南)の1,765㎡を対象に調査を実施した。A区南は平成29年度にA区北、B区北は平成30年度に調査を終えている。

縄文～古墳時代・古代 調査区が狭小地であり、岩陰部分の崩落も心配されたことから、落石防護柵などの安全対策を行い掘削を行った。岩陰の中心部付近に設定したトレンチからは縄文時代早期から晩期の土器や石器が出土した。また、同じトレンチの上層部からは弥生時代から古墳時代の土器が出土した。しかし、昨年度に発掘調査した岩陰の本体部分で確認されていた灰層や遺構は確認されなかった。

近世 調査区の南北端は、鉄道の擁壁建設で削平されていたが、擁壁削平をまぬがれていた間の調査を実施し、天明期の道と天明泥流堆積後の道をそれぞれ確認した。天明泥流に覆われた道は東西に延び、難所とされていた吾妻川沿いに進む道が天明以前からあったことになる。また、天明泥流堆積物を掘り込んだ道も被災直後に復旧されたのであろう。

(山本直哉)



国土院 5万分の1 地形図「草津」使用



遺跡(B区南)全景(西から)



縄文時代の包含層調査風景(南西から)



トレンチ内遺物出土状況(南から)

6 いしはた 石畑遺跡

所在地 長野原町川原湯

担当者 石田 真・山本直哉

遺跡の立地

本遺跡は吾妻渓谷の上流側左岸にあり、上～中段丘に相当する緩斜面に立地する。河床からはおよそ45～65mの高低差があり、北側には切り立った岩山がそびえている。

調査の概要

本遺跡はハツ場ダム建設工事に伴う発掘調査で、平成6・8・9年度に試掘調査、平成10年度と平成29年度に本調査が行われ、縄文時代前期の遺物包含層や近世の畑跡などが検出されている。本年度は4,330㎡が調査対象となった。調査範囲は平成29年度調査区(A区)の西側(B区)で、緩斜面部と旧道下の調査を行った。

古代 トレンチ調査を実施し、土器片が20点ほど出土したが、遺構は確認されなかった。

近世(天明3年) 江戸時代天明期の畑8か所、石垣2基、ヤックラ2基を検出した。検出した畑の多くは畝立が等高線に沿うように東西方向に耕作されていた。また、緩斜面部ではAs-A降下後に耕作土の天地返しされた畑が検出された。緩斜面部中央のヤックラは外周部分に人頭大の礫を置いて、内側には拳大程の礫が大量に集められていた。調査区下段の旧道下では現代の道を作る際に削平を受けており、南側の僅かな部分に畑が残存するのみであった。

近世以降 旧道下の西端で天明泥流発生以後に築かれた道と、それに付随する石垣を10m程確認した。東吾妻町松谷と長野原町川原畑を結ぶ道の一部と考えられる。

(山本直哉)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



遺跡(B区)全景(上空から 上が北)



江戸時代の畑・ヤックラ調査風景(東から)



近世以降の道・石垣全景(東から)

7 いしかわら 石川原遺跡

所在地 長野原町川原湯

担当者 石田 真・山本直哉

遺跡の立地

遺跡はJR吾妻線の川原湯温泉駅から北に1kmほどで、吾妻川右岸の中位段丘面上に立地する。標高は約535mを測る。現在の吾妻川河床からの比高差は約30mである。

調査の概要

本調査は八ッ場ダム建設工事に伴う発掘調査で、平成20年度・平成26～31年度にかけて継続的に調査が行われている。本年度は、昨年度から継続している縄文面の発掘調査を中心に実施した。調査対象面積は678㎡である。

縄文時代 中期～晩期の配石遺構、配石墓、竪穴建物、土坑、ピット、埋甕、焼土等が検出された。多くの配石墓には底面に礫が敷き並べられると共に、箱状に掘った土坑の壁には礫が積み上げられていた。また、壁石の上に更に礫を積み重ね、その上に蓋石をのせる配石墓も確認されている。配石墓は重複して検出されたものもあり、古い時期の配石墓の礫をそのまま利用して構築されていた。配石墓の周辺からは土偶や土製耳飾り、注口土器などの遺物が出土した。出土した土偶は長さ15cm程で全身が赤色に塗彩されていた。完形状態だが特殊な形状で、頭部は浅鉢状に作られ、顔面側は省かれ表出されていない。土偶の隣からは後期後半の注口土器が出土した。埋甕の一基は、底部が欠損した深鉢を正位に埋め、蓋石と考えられる礫が被せられていた。また、埋甕の下には埋甕を囲うように礫が置かれていた。

平安時代 検出したピット数基が平安時代に帰属する可能性がある。

(山本直哉)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



遺跡(7区)全景(上空から 上が北東)



縄文時代の配石墓調査風景(南西から)



縄文時代の土偶の出土状況(北西から)

8 かわらゆかつめま 川原湯勝沼遺跡

所在地 長野原町川原湯

担当者 関 明愛・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川右岸の河岸段丘上に立地し、不動大橋の直下に位置する。標高は約540m、吾妻川との高低差は約30mである。

調査の概要

本調査は、平成31年度八ッ場ダム建設事業に伴う発掘調査である。調査対象面積は2,644㎡で、調査区の呼称はE区とした。

縄文時代～近世 北西部に古代以降とみられる畑跡が確認できた。遺物が出土しなかったため正確な時期は不明である。畝の間隔は80～90cmで川と直交するようにほぼ南北方向に延びていた。北西部端では更に新しい時代の畑跡を幅1m程度検出した。天明期の畑と畝立の方向や畝幅が類似することから近世の畑と推定される。いずれの畑も土石流堆積物の厚い山側にのみ残っており、川側のものは天明期の耕作によって削平されていた。土坑の形状は直径1m程度の円形のもので占められる。中央部の湧水地点周辺には縄文土器片が複数出土したが、遺構は確認できなかった。

近世(天明3年) 天明泥流によって埋没した畑を検出した。畑はおおよそ東西方向に畝立されていた。畝幅は約45cmか約60cmであったが、南北方向に畝立され、畝幅が約90cmのものも認められた。畑にはヤッケラ6基が検出されたことから、山崩れによって流入した礫を除去して耕作したものと推定される。南東部では石川原へ続く街道とみられる道を検出した。道路部分の幅は約1.8mであった。道は川側に約30cmほど石を積み上げて広げ、山側は斜面を掘込んで、道巾を確保していた。

(関 明愛)



国土地理院 5万分の1 地形図「草津」使用



遺跡遠景(西から)



古代と近世の畑(南から)



近世の街道(北東から)

9 ^{しもゆばら}下湯原遺跡

所在地 長野原町川原湯

担当者 関 明愛・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川右岸に広がる段丘上にある。標高は約520mにあり、八ッ場大橋直下に位置している。

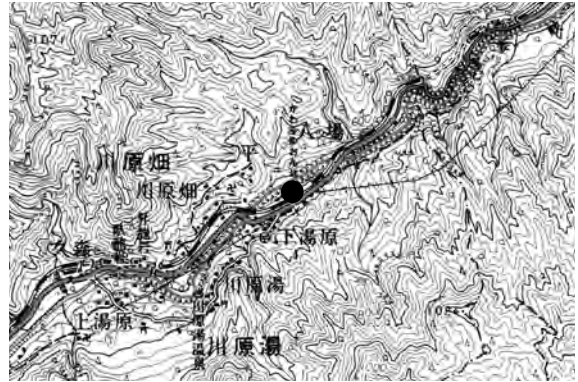
調査の概要

本調査は、平成31年度八ッ場ダム建設事業に伴う発掘調査で、調査対象面積は9,483㎡である。

古代 A-4区、H-1～3区で竪穴建物3棟、掘立柱建物21棟を検出した。竪穴建物はいずれも一辺約5mの方形で深さは約30cmであり、北壁ないし東壁に竈が構築されていた。須恵器、土師器片が出土している。掘立柱建物には重複関係があり、同じ場所に何度も立て直したことが窺える。土坑のうち6基からは骨・歯が出土したため、土壌墓と推定される。人体の形状が確認できるものは全て北枕、西向きに屈葬されていた。副葬品と推定される古銭が出土した。

近世 天明泥流で埋没した畑を検出した。畑は、おおよそ東西方向に畝立されていた。畝幅および畝の深さは場所により異なることから、異なった作物が栽培されていたと推測される。畑の間からは平坦面が一定の間隔で検出された。平坦面は円形と方形のものに2分され、どちらも径は約1mであり、いくつかは中央部に南北方向の溝が切られているものがあつた。H-2・3区には畑の畝サクに直交するように南北の溝が切られており、山側からの湧水・雨水を川へ排水する役割を持っていたと考えられる。溝のうちH-2区1号溝は溝の東壁に沿って割石が設置されていた。割石の長径は不均一であったが、短径は20cm前後で揃えられていた。割石の中には、一辺に2～5cmの間隔で13か所の矢穴を掘ったものもあつた。

(関 明愛)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



遺跡遠景(西から)



古代の竪穴建物(南から)



近世の畑と溝(南西から)

10 まつやまつしもに 松谷松下2遺跡

所在地 長野原町松谷

担当者 山本直哉・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川左岸の河岸段丘上にあり、北側には吾嬭山の山並みが連なっている。南側は吾妻川が東流しており、調査区東側は深い谷を形成した小さな沢に接している。遺跡の標高は、約460～470mである。

調査の概要

平成31年度上信自動車道吾妻西バイパス建設事業に伴う発掘調査で、対象面積3,890㎡である。天明泥流を除去した第1面、ローム漸移層上面の第2面の2面調査を2か月間で実施した。

縄文時代 土器が150点ほど出土したが、遺構は検出されなかった。

中近世 堀2条、掘立柱建物2棟、溝1条、柵列3条、土坑39基、ピット65基、焼土遺構3基を検出した。2条の堀は南北方向に並走しており、北側で東方向に屈曲する様子が確認された。堀は深いところで1.5m程の掘り込みをもち、北側に向かうに従いやや浅くなる。堀の覆土中からは五輪塔(火輪)が出土した。1号掘立柱建物は柱穴の深さが70cm程であり、中央部付近から焼土遺構が検出された。2号掘立柱建物の南側には、3号柵列が並行するように確認されたことから、庇付きの建物と想定される。また、検出された土坑の1基からは人骨が出土し、5枚の寛永通宝が共伴して出土した。

近世(天明3年) As-Aの残存が良好な部分では、東西方向に延びる畑および円形平坦面が確認された。中央部付近の畑は谷の地形に沿って弧状に作られており、天明泥流堆積後の復旧坑も検出されている。調査区西側では復旧坑が18基確認されているが、遺物は陶磁器と古銭が数点出土したのみであった。

(山本直哉)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」「草津」使用



遺跡全景(上空から)



中近世の堀2条と掘立柱建物(西から)



近世の土壙墓と人骨(南から)

11 根小屋城跡

所在地 東吾妻町三島

担当者 飛田野正佳・岩上千鶴

遺跡の立地

本遺跡は東吾妻町三島の吾妻川右岸、根小屋地区にある中世の城跡である。この城は根小屋集落の西にある山の尾根上に立地する。根小屋城跡は、「鉄塚」と「斥候山(城山)」と呼ばれる郭群で構成されている。調査対象地は「鉄塚」と呼ばれる郭の北側斜面である。上面は東西約130m、南北約20～40mの平坦面となっている。北・東・南側の各方面は集落や畑を見下ろす比高差40～50m程の急斜面になっている。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻西バイパス建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査で、調査面積は3,921㎡である。

縄文時代 北側斜面上部の平坦面で土坑1基が検出された。また、前期の土器片が数点出土した。

奈良・平安時代 北側斜面上部平坦面で土坑5基、ピット15基を検出した。土坑は平面形態が楕円形で、底部が狭まっていた。土坑群は尾根に直交して直線状かつ等間隔に掘られていたことから、陥し穴と考えられる。

中世 北側斜面上部の平坦面において、前年度に検出された堀切の延長部分を調査した。堀切は平坦面の西側から「斥候山(城山)」の尾根へと続く凹地にかけて急斜面に掘られており、幅は3～8m、深さは平坦面側の急斜面を含めると約11mに達する。堀切の底面の幅は約30cmで薬研堀である。堀切の斜面部は土砂崩れが原因と思われる削平によって、中腹部で残存状態は極めて悪かった。斜面部では、犬走や郭があると推定される箇所においてトレンチ調査を実施したが、表土下は岩盤となっており、そのような痕跡は認められなかった。

(岩上千鶴)



国土地理院5万分の1地形図「草津」「中之条」使用



遺跡全景(北西から)



北側斜面全景(北から)



堀切全景(北から)

うえぐりなかはら
12 植栗中原遺跡

所在地 東吾妻町植栗

担当者 関 俊明・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川右岸の河岸段丘上に立地する。中之条盆地を対岸の断崖から北に臨む格好となる。標高は347m、吾妻川との比高差は25mある。

調査の概要

本調査は、上信自動車道に接続予定の県道植栗伊勢線の道路改築事業に伴うものである。平成16～18年度に県営畑地帯総合整備事業に伴う発掘調査が近接地で実施されている。調査は吾妻川寄りの北から1区、調査対象外の低地を挟んで、2区東・2区西の3つの調査区を設定して実施した。

縄文時代 1区で、北東から南西に尾根を横切るように配列された5基の陥し穴を検出した。2区西では、As-YP上位のローム漸移層から縄文時代草創期の土器片・石槍・削器・石鏃・剥片等の遺物が、2か所で集中して出土した。

古墳時代 1区北寄り径10mほどの周溝を確認した。底部にはHr-FAと考えられる火山灰が5cm程堆積していた。周溝内からは古墳時代の土器が出土した。墳丘は既に削平されていたが、状況的には円墳ということになる。また、2区東の西斜面際で、古墳時代前期の土器片が見つかったが、遺構検出には至らなかった。

中近世 1区と2区の東寄りの概ね幅2.5mを測る堀状を呈する溝、掘立柱建物、柵列、竪穴状遺構、土坑、ピット群などが検出された。遺跡東には、中世の植栗城や大日堂が所在したといわれ、その関連遺構とも考えられるが、時期決定につながるような遺物の出土は、ほぼ皆無であった。

(関 俊明)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



調査区遠景(東から)



古墳時代～中近世の調査区全景(東から)



縄文時代草創期の尖頭器出土状況(近接)

かないしもしんでん
13 金井下新田遺跡

所在地 渋川市金井

担当者 須田正久・鈴木佑太郎

遺跡の立地

遺跡は渋川市中心街から北西3.3kmほどに位置し、榛名山の北東麓を流れる登沢川によって形成された扇状地末端部の標高230mほどの緩い緩斜面に立地する。

調査の概要

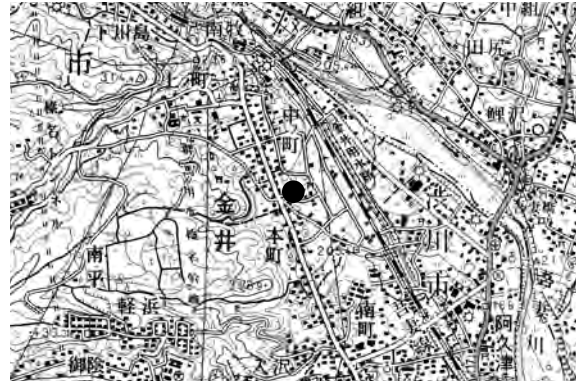
遺跡は令和元年度一般国道17号(渋川西バイパス)建設事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。調査面積は1,945㎡である。

縄文時代～弥生時代 土坑1基を確認した。遺物は、縄文時代中期から後期の土器や、弥生時代後期の「樽式土器」が出土した。

古墳時代 調査はHr-FP下、Hr-FA (S9、S7、S3、S2、S1)、Hr-FA下黒色土面ごとに行った。竪穴建物8棟、祭祀遺構1基、道5条、線状衝撃痕、土坑など多種多様の遺構を確認した。Hr-FP下面からは馬蹄痕や道、S3面からは榛名山から飛来した火山弾が衝突した痕跡である線状衝撃痕、S2面からは馬蹄痕を確認した。馬蹄痕は、一定の範囲で北東方向へ歩行している様相が確認できた。この歩行列は、現道を挟んだ東側の5区で確認されている歩行列へと続くものと考えられる。S1直下からは、祭祀遺構が確認された。祭祀遺構で出土した土器の器種は、高坏が多く、土器内や祭祀遺構の周辺には、白玉が多量に散らばった状態で出土した。更にS1下の黒色土中からは竪穴建物8棟を確認、これらの竪穴建物は5世紀後半に帰属するものと考えられる。竪穴建物中には、煙道が未発達な古期の竈を伴う竪穴建物もあった。

平安時代 遺構は確認できなかったが、調査区西側、Hr-FP上面から多量の鉄滓が出土した。

中近世 遺構は、両脇に側溝を伴う道や溝、畑、土坑を確認した。遺物は遺物包含層中から陶磁器片や古銭が出土した。(鈴木佑太郎)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」「沼田」使用



古墳時代のS3(Hr-FA)降下後の馬の歩行列全景(上が東)



古墳時代の祭祀遺物出土状況(東から)



古墳時代の煙道のない竈の竪穴建物(東から)

たなしたこみやま
14 棚下込山遺跡

所在地 渋川市赤城町

担当者 須田正久・鈴木佑太郎

遺跡の立地

遺跡は、赤城山西麓の利根川の河岸段丘上に位置する。遺跡の標高は最高で約540mを測り、利根川河床からの比高差は、30～35mを測る。

調査の概要

本遺跡は一般国道17号(綾戸バイパス)建設事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、調査面積は2,310㎡である。遺構確認面は縄文時代と古墳時代(Hr-FP下)の2面であり、その後旧石器の確認調査を行った。

旧石器時代 縄文時代の遺構、遺物が出土した調査区の中央部分から西側部分にかけて旧石器の確認調査を行った。約1.5m～2m下からは旧利根川の河床礫が確認されたが、剥片類等の遺物は出土しなかった。

縄文時代 土坑27基を検出した。深鉢や大型の石皿、石器などを共伴する土坑も出土した。調査区北側からは、前期中葉から中期後葉にかけての土器や、石斧や剥片類の石器・石製品を数多く含む包含層となっていた。調査区内から竪穴建物は検出されなかったが、これらの時期を中心とした集落が調査区周辺に存在する可能性が高いと考えられる。

古墳時代 古墳時代の調査は、Hr-FP下の黒色土で調査を行った。遺構は、Hr-FPで埋没した土坑43基と溝1条を検出したが、遺物は出土しなかった。

平安時代 溝1条を検出した。溝からは、11世紀頃の羽釜片が出土している。

中近世 後世の耕作や攪乱によって、遺構は希薄であったが、調査区東側から、Hr-FPの二次堆積で埋没した土坑2基、焼土集中部2か所、溝2条、自然流路1条を検出した。遺物は表土からキセル1点が出土している。

(鈴木佑太郎)



国土地理院5万分の1地形図「赤城」使用



縄文時代面包含層全景(北西から)



磨製石斧出土状況(北から)



古墳時代面の調査区全景(空撮 北西から)

たかはまてんぐはら
15 高浜天狗原遺跡

所在地 高崎市高浜町

担当者 新井 仁・山本直哉

遺跡の立地

本遺跡は、烏川左岸の十文字台地上に位置する。北側には榛名山の山麓部が広がる。遺跡地の標高は165～170m程である。

調査の概要

平成31年度西毛広域幹線道路整備事業に伴う発掘調査で、対象面積761㎡である。平成30年度に県による包蔵地内の確認調査が実施され、ピットが数基確認されていた。本調査ではローム層上面の調査と旧石器の確認調査を1か月間で実施した。狭小な調査区のため竪穴建物の全体が検出されないものも多かった。

旧石器時代 2m×4mのトレンチ2か所を設定して掘削した。遺構や遺物は確認されなかった。

縄文時代 竪穴建物4棟と土坑を検出した。竪穴建物の形状は方形または隅丸方形で、前期から中期の土器・石器が出土した。同一の場所に時期の違う縄文時代の竪穴建物が作られている様子が確認された。直径1m程の大型の土坑も検出された。

古墳時代～古代 竪穴建物8棟、土坑、ピット、溝1条を検出した。古墳時代の竪穴建物は一辺が3mほどで、南東隅にローム土を構築材とした竈が設置されていた。建物内からは白玉が2点出土した。古代の竪穴建物の殆どは東壁に竈が設置されていた。1棟の竪穴建物では、須恵器の蓋を中心に完形に近い遺物が多く出土した。古代の建物は掘り方に直径1m程の床下土坑をもつものが多く、深さ1m程の掘り込みをもつ床下土坑も検出された。検出された土坑やピットの多くはAs-Cを含んだ黒色土が覆土であり、調査区の中央から西側付近を中心に確認された。

(山本直哉)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



遺跡全景(西から)



縄文時代の竪穴建物遺物出土状況(北から)



古代の竪穴建物遺物出土状況(北西から)

ほんごうまんぎようはら
16 本郷満行原遺跡

所在地 高崎市本郷町

担当者 新井 仁・長澤典子

遺跡の立地

本遺跡は榛名山南東麓(高崎市北部)にあり、榛名山水系により南北に刻まれた谷地形が発達する烏川左岸の丘陵上に立地している。標高は約170mである。

調査の概要

本調査は平成31年度社会資本総合整備交付金西毛広域幹線道路(高崎西工区)事業に伴う調査で、昨年度末からの継続となっている。調査面積は4,926㎡である。

縄文時代 竪穴建物2棟、土坑5基が確認された。竪穴建物は前期黒浜期のもので、1棟は長辺が7mある大型の建物である。他に包含層中で、前期後半や中期後半の土器が出土した。

古墳時代 後期の竪穴建物1棟が確認された。一辺約6mの大型住居である。

奈良・平安時代 寺院関係建物3棟、竪穴建物52棟、土坑32基、溝7条等が確認された。寺院関係の建物は周囲に溝を伴う建物、堀込地業を伴う建物、礎石建物が確認された。礎石建物は2間×2間もしくは3間で、礎石下に堀込地業があり、土器・瓦等が多量に出土している。周囲に溝を伴う建物は、西側および南側に溝があり、区画内から2間×2間の掘立柱建物が検出された。瓦は多量に出土しているが、8世紀初頭～前半、8世紀後半～9世紀初頭の時期と考えられる。竪穴建物の竈の構築材に、瓦や埴輪を転用しているものもある。出土遺物としては、銅印(文字「吉か」)、瓦塔片、丸軛等があり、紡錘車や灰釉陶器も多く出土している。

中近世 土壇墓1基、道路2条、土坑40基等が確認された。土壇墓からは、人骨と宋銭が出土した。道路の走向はいずれも東西方向であった。

(新井 仁)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



縄文時代の大型竪穴建物(西から)



奈良・平安時代の礎石建物(東から)



奈良・平安時代の銅印出土状況(北から)

しもさとみてんじんまえ
17 下里見天神前遺跡

所在地 高崎市下里町

担当者 新井仁・山本直哉

遺跡の立地

本遺跡は、烏川と里見川に挟まれた微高地上に立地する。北側には榛名山の山麓部が広がる。遺跡地の標高は135～140m程である。

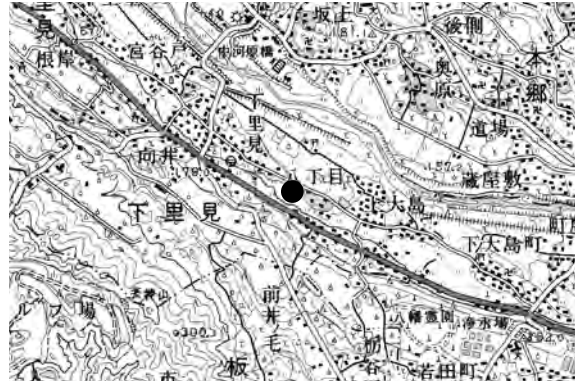
調査の概要

本調査は、令和元年度西毛広域幹線道路整備事業に伴う発掘調査で、対象面積3,160㎡である。本調査ではAs-B降下面および地山上面の調査、旧石器の確認調査を実施した。

古墳～奈良時代 竪穴建物18棟、土坑35基、溝4条、ピット34基、古墳1基が検出された。竪穴建物は殆どが6世紀末から8世紀初頭にかけてのものであったが、1棟のみ古墳時代前期の竪穴建物が確認されている。竪穴建物は大きなものは一辺6m程、小さいもので一辺2m程で、建物内にはローム土を構築材に用いた竈が東壁もしくは北壁に設置されていたが、2か所に竈を並設した竪穴建物も確認されている。竪穴建物から出土した遺物の殆どは土師器や須恵器であるが、白玉等の玉類も数点出土した。古墳の埋葬施設は後世の削平を受けて失われており、周溝部のみ調査を行った。時期を特定する出土遺物はなかったが、竪穴建物との重複関係から6世紀頃の古墳だと考えられる。

平安時代 調査区西側の低地部は厚さ10～20cm程のAs-Bに覆われており、それを除去すると全面に水田が確認された。畦畔の残存状況も良好だった。

(山本直哉)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



1区全景(上空から 上が南)



古代の竪穴建物全景(南東から)



古墳全景(南から)

あんなかしげろにげろいち
18 安中市0201遺跡

所在地 安中市下秋間

担当者 新井 仁・長澤典子・関 明愛

遺跡の立地

本遺跡は秋間丘陵南東部にあり、鍛冶屋川が秋間川に合流する付近に位置する。鍛冶屋川によって開析された谷底部から右岸舌状に延びた丘陵の標高150～200mの緩斜面地に本遺跡は立地する。周辺には秋間古窯跡群や数基の後期古墳がある。

調査の概要

本調査は、令和元年度西毛広域幹線道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査で、442㎡を調査した。

古墳時代 古墳1基が確認された。丘陵東側の斜面を整地して築かれており、長軸約5.5mの石室が南に開口している。石室部分は斜面を竪穴状に掘り込んで造られており、側壁は秋間産の溶結凝灰岩を使用し構築されていた。石室の残存高が約1.1mで、玄室側壁には最大で幅1.8m、重さ3t以上のものも使用されていた。入口部には拳大の川原石を乱雑に積んだ閉塞石が残存していた。周堀は残存が非常に悪く、平面形ははっきりしなかったが、墳丘長は14～16m程度と考えられる。出土遺物は非常に少なく、玄室上層から白玉が1点と、前庭部から須恵器の長頸壺が1点、周堀内から須恵器の坏蓋が数点出土している。時期は6世紀後半から7世紀初頭の終末期であると考えられる。

平安時代 配石遺構1基が検出された。古墳の前庭部から続く低地に位置し、人頭大の礫を周囲に並べて作られていたと考えられる。遺物は灰釉陶器の皿が2点出土している。

中近世 溝が1条、墓と考えられる土坑14基が検出された。溝はAs-B混土で埋没している。土坑墓の平面形態は、一辺60～100cmの方形や長方形、直径60～100cmの円形である。頭蓋骨や大腿骨等の人骨が出土すると共に、副葬品と推定される陶磁器や銅銭等の遺物が共伴して出土した。(新井 仁)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



遺跡全景(上空から)



古墳の石室全景(南から)



近世の土坑墓人骨出土状況(西から)

まえがししぜろきゅうよんろく
19 前橋市0946遺跡

所在地 前橋市朝倉町

担当者 梅村唯斗・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は前橋市南部、利根川左岸に広がる前橋台地上に立地する。標高は約86mである。調査地の大半は後背湿地が占めているが、部分的に微高地となっていた。

調査の概要

本調査は、令和元年度(主)前橋玉村線バイパス社会資本総合整備(活力・一般)関連事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。調査面積は627㎡である。

古代 竪穴状遺構、掘立柱建物、土坑、溝、ピットやAs-B直下の水田を検出した。

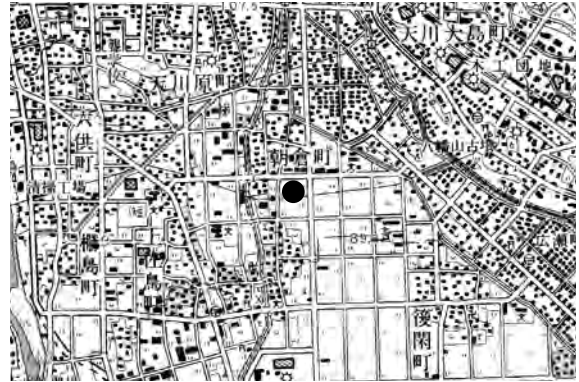
竪穴状遺構は、出土した土師器片・須恵器片等の遺物から奈良時代に帰属するものと思われる。また、検出された土坑やピットも、覆土の状態から同時期のものと推定される。

検出された掘立柱建物は、調査区が狭小であったため、その全体規模は確認することができなかったが、南北方向に桁行を採る建物と推定される。また、建物外側には棟持柱様の柱穴があったが、やや小規模で断定は難しい。

As-B直下の水田では畦が検出されたものの、後世の溝や耕作等の削平によって部分的にしか認められなかった。

過年度調査において、本遺跡に接して7世紀から10世紀にかけての集落が確認されている。本調査区は、集落の中でも居住域に隣接した生産域として主に利用されていたと考えられる。

(梅村唯斗)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



調査区(古代)全景(南から)



奈良時代の竪穴状遺構(南から)



古代の掘立柱建物(南西から)

まえがししぜろくさんご
20 前橋市0635遺跡

所在地 前橋市下佐鳥町

担当者 梅村唯斗・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は前橋市南部、利根川左岸の前橋台地上に立地する。標高は、約86mである。調査地の大半は後背湿地となっているが、部分的に微高地が広がり、居住域となっていた。

調査の概要

本調査は、令和元年度(主)前橋玉村線バイパス社会資本総合整備(活力・一般)関連事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。調査面積は5,139㎡である。

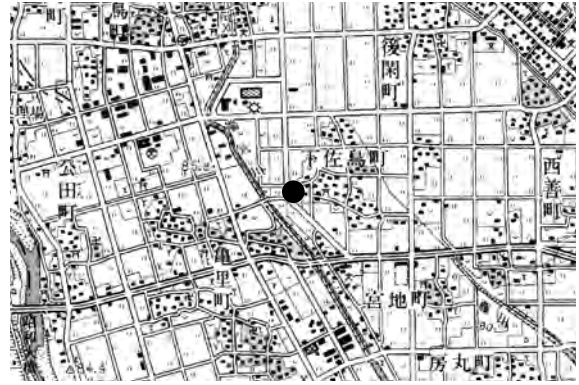
古代 低地部に水田が検出されたほか、微高地上に土坑やピットが検出された。水田は複数時期のものが検出されており、古墳時代Hr-FA下水田、平安時代As-B下水田の埋没水田が確認されたほか、Hr-FA下水田下に4～5世紀代の水田痕跡が残されていた。この疑似水田は調査区の広範囲に広がっていたが、Hr-FA直下の水田は調査区の一部で確認されただけであった。また、As-B直下の水田はAs-Bの堆積が厚かったこともあり、残存状態は良好であった。

このほか、平安時代軽石下の水田下で確認された溝1条がある。溝の規模は幅約1m、深さ約50cmで、出土遺物から勘案すると9～10世紀頃に帰属するものと考えられる。

中近世 溝や井戸等が検出されている。溝の規模は大きく幅はおおよそ1m前後を測る。過年度調査においても同様の遺構が検出されており、屋敷等の区画溝となるものと推定される。

調査区北端で検出された井戸は、径約1m、深さ約1.5mである。出土遺物がなく、詳細な帰属時期は不明である。

(梅村唯斗)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



遺跡全景(南から)



4～5世紀代の水田の痕跡(東から)



平安時代(As-B直下)の水田(南東から)

わたぬきよんじゅういち
21 綿貫41遺跡

所在地 高崎市綿貫町

担当者 小原俊行・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は関越自動車道高崎JCTから南へ約2 km付近、井野川右岸の井野川低地帯に立地する。標高はおおよそ70mを測る。

調査の概要

平成30年度(都)前橋長瀬線社会資本整備総合交付金(活力基盤)に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、789 m²を調査した。

縄文時代 遺構は検出されなかったが、他時期の土坑覆土内から打製石斧等が出土した。

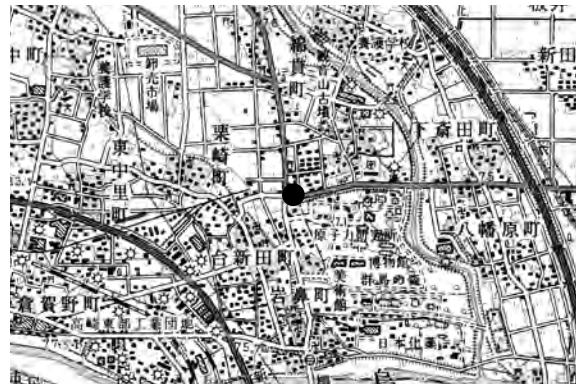
古代 溝5条を検出した。溝は幅30cm程度であり、その走行は南北方向を指していた。遺物の出土は少なく、土師器・須恵器片が僅かに認められた。これらの溝の覆土はAs-B混土下に認められる粘質土であった。そのため、溝の時期は古墳時代から奈良・平安時代であると推定される。

中近世 溝3条、土坑26基、ピット39基ほかを検出した。これらの遺構覆土はAs-B混土であり、土坑の1基は中世の地下式土坑であった。地下式土坑は一辺が約2 mあり、出入口と推定される突出部が認められた。土坑内において柱穴が検出されたことから、上屋構造を備えると考えられる。

また、土坑とした1つに深さ3 m程の大型のものがあつたが、遺構覆土に礫が多量に含む廃棄井戸であると推定される。遺構覆土の最上位にはAs-B混土が認められることから、中世の所産であると推定される。

溝はいずれも薬研堀で、最大のもので幅約4 m、深さ2 m、底部幅0.3m弱の規模であった。埋没土の上位には、As-Aが流入していた。これらの溝の走行は東西を方向を指していた。

(小原俊行)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



調査区全景(南から)



中世の地下式土坑(北西から)



近世の大溝(北東から)

いわはなよんじゅうななのいち
22 岩鼻47-1遺跡

所在地 高崎市岩鼻町

担当者 小原俊行・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は旧岩鼻火薬製造所である群馬の森と日本火薬(株)工場敷地の西側、井野川右岸の井野川低地帯にあり、標高はおよそ70mを測る。西側の高崎台地上には天神山古墳と、近世の代官所である岩鼻陣屋が所在する。

調査の概要

平成30年度(都)前橋長瀬線社会資本整備総合交付金(活力基盤)に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、761㎡を調査した。

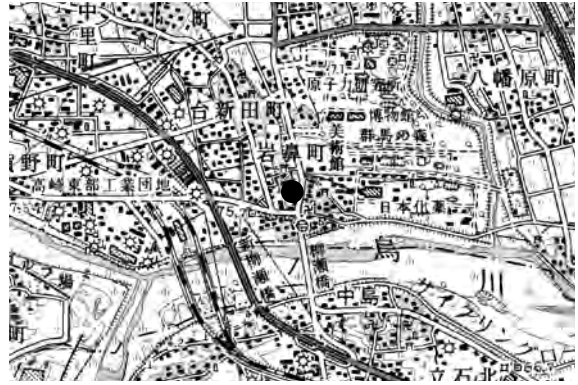
縄文時代 前期と推定される土器片を伴うピット1基が検出された。また、高崎泥流堆積物上位から黒曜石製の剥片1点が出土された。

古墳時代 前期の竪穴建物2棟を検出した。建物の全容は不明であるが、その内の1棟は一辺約3.5mで、炉跡と推定される焼土の集中部を伴うものであった。

後期の溝5条が検出された。いずれもAs-B混土が遺構覆土の最上位に認められた。As-B混土下からは円筒埴輪片が多量に出土した。これらの溝はいずれも円を描くように走行することから、円墳の周溝の一部であると推定される。また、円筒埴輪片はAs-B混土下を中心に出土している。

中近世 本遺跡内のAs-Bより新しい時期の堆積物は大きく削平・攪拌を受けていたが、As-Bの混土を覆土とした溝が1条認められた。

(小原俊行)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



調査区全景(北から)



古墳時代の竪穴建物(南西から)



古墳時代の溝(南東から)

いわはなよんじゅうななのさん
23 岩鼻47-3遺跡

所在地 高崎市岩鼻町

担当者 小原俊行・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は旧岩鼻火薬製造所である群馬の森と日本火薬(株)工場敷地の西側、井野川右岸の井野川低地帯にあり、標高はおよそ70mを測る。調査区内には、『上毛古墳総覧』の岩鼻村4号墳が所在すると推定される。

調査の概要

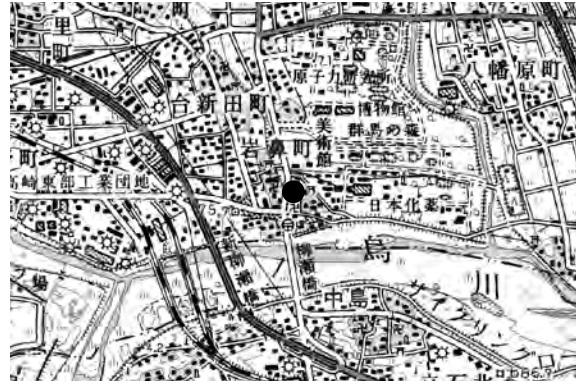
平成30年度(都)前橋長瀬線社会資本整備総合交付金(活力基盤)に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、1,782㎡を調査した。

縄文時代 遺構は検出されなかったが、打製石斧や磨製石斧、石鏃等が出土した。

古墳時代 前期の竪穴建物3棟を検出した。部分的な検出ではあるが、そのうち1棟は一辺約5~6mの規模であった。竪穴建物内からは、炉跡と推定される焼土の集中部や柱穴などが認められた。

後期の竪穴建物4棟を検出した。そのうち2棟で竈が確認された。竈には円柱状の小形礫が袖の構築材として利用されていた。このほか、溝3条が検出されており、いずれもAs-B混土が遺構覆土の最上位に認められた。溝の覆土からは、円筒埴輪片が多量に出土した。これらの溝は円を描くように走行することから、円墳の周溝の一部であると推定される。また、円筒埴輪片はAs-B混土下を中心に出土している。

平安時代~近世 溝1条、井戸1基を検出した。溝は比較的規模が大きく、南北に伸びていた。溝を横断するように木杭列が並行して2列検出されたことから、柵などの構造物が存在したと推定される。また、井戸の規模は直径約2.0~2.5m、深さ約5.2mであった。井戸の覆土には礫が多量に含まれていた。(小原俊行)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



調査区遠景(北から)



古墳時代の周溝(南から)



平安時代~中世の大溝(北から)

まえがししぜろはちきゅういち
24 前橋市0891遺跡

所在地 前橋市粕川町深津

担当者 関 俊明・岩上千鶴・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は赤城山南麓に広がる粕川扇状地扇中部にあり、桂川左岸に南北に延びる台地上に立地する。標高は144m前後である。本遺跡内には中世城館の「深津寄居」が存在する。

調査の概要

本調査は、平成31年度(一)三夜沢国道停車場線整備事業に伴う発掘調査である。調査面積は2,014㎡であった。調査を実施するにあたり、調査区を1区～12区に分割した。北側の調査区はローム土が堆積する微高地であるのに対し、南側は砂層と粘質土・シルト質土が堆積する低地であった。そのため、遺構確認面は北側の調査区ではローム及び上位層の黒褐色土の上面、南側の調査区ではAs-B混土及び粘質黒色土の上面となった。

古墳時代 微高地上で竪穴建物9棟、低地部で溝1条が検出された。竪穴建物から検出された竈は、いずれも東壁もしくは北壁に設置されていた。また、後期竪穴建物の竈では、煮沸用に設置された甕が完形に近い状態で出土すると共に、竈の袖の構築材用の甕が逆位の状態で出土した。

奈良・平安時代 竪穴建物8棟、竪穴状遺構1基、土坑14基、ピット11基が検出された。これらの遺構は微高地部分で検出されたもので、低地部から遺構は検出されなかった。

中世 溝4条、ピット21基が検出された。調査区が狭小であるため全容は不明であるが、一部のピット群は直線状に並ぶことから、掘立柱建物の柱穴であると推定される。また、検出された溝の一部は、薬研堀で平面形態がクランク状に屈折することから、城館の堀と考えられる。本遺跡の性格を鑑みると、「深津寄居」の堀の一部であると推定される。

(飛田野正佳)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



調査区(4区)全景(南から)



古墳時代後期の竪穴建物の竈(南西から)



中世のピット群全景(南から)

25 前畑 K 遺跡

まえはたけい

所在地 桐生市新里町野前畑

担当者 間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は桐生市清掃センターの北東約500m、南北に流れる粕川の東側の台地にある。標高は約145m前後である。

調査の概要

本調査は、令和元年度(一)梨木香林線道路改良事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。調査面積は439㎡である。

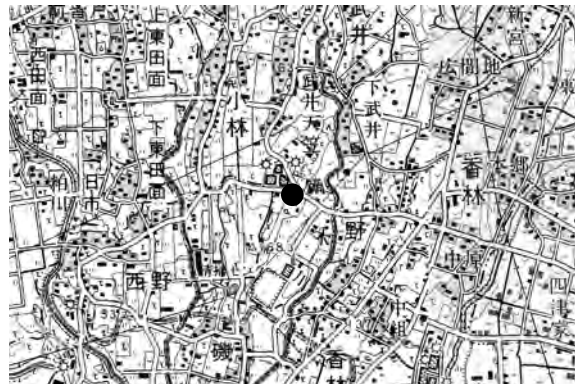
縄文時代 遺物を伴わず時期が明確ではないが、土坑数基と、前期から後期にかけての土器片・石器類を多数検出した。

古墳時代 S字口縁台付甕の口縁部や胴部の破片、有段の杯口縁部等が出土したが、竪穴建物等の遺構は検出できなかった。

奈良・平安時代 長甕の胴部片等が出土したが、竪穴建物等の遺構は検出できなかった。

中近世 堀を2条検出した。1号堀は、調査開始時点で周囲より窪んでいたため東西方向の堀の存在が予想された。調査区が狭く、径が1m以上の樫の切株等が複数あり、重機での掘削が不可能であった。そこで、切株間を人力で掘削する調査となった。堀のクランク部分が検出されたため、規模や形状の把握が困難であったが、調査区東側の道路際で確認することができた。その規模は上幅約5m、下幅約1.6m、深さは約2.4mで箱堀状を呈していた。

覆土からは、近現代の磁器やガラス瓶等を含め多種多様の遺物が出土しているが、底面近くから内耳鍋の破片が出土した。2号堀は、1号堀の南側60m程のところにあり、上幅約2m、深さ約1mで薬研堀状を呈していた。底面に接して梵字らしきものが確認できる板碑の頭頂部破片が出土した。両堀が同時期に存在したかは不明であるが、館の堀の一部の可能性もある。
(間庭 稔)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」「桐生及足利」使用



調査区全景(北から)



中近世の堀(1号)(南東から)



中近世の堀(2号)(南東から)

ただやまひがし
26 多田山東遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀町今井
担当者 関 俊明・岩上 千鶴
関 明愛・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は多田山丘陵の東、標高159m前後を測り、南北に延びる丘陵性台地上に位置する。多田山丘陵は赤城山南麓に点在する「流れ山」のひとつで、河川や湧水等により南北方向に谷地形が形成されている。丘陵中央西側が調査地であり、西に弱く傾斜していた。

調査の概要

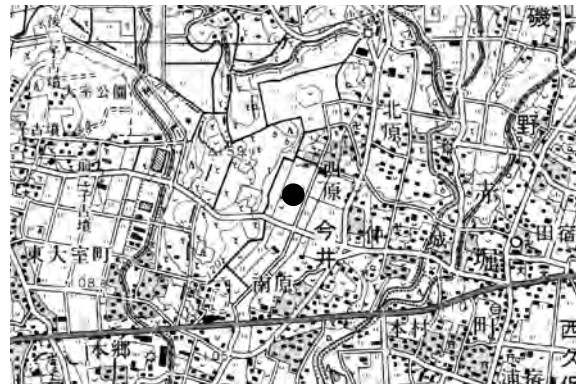
本調査は令和元年度一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査である。調査面積は8,747㎡で、南側より1区、2区とした。

旧石器時代 旧石器確認トレンチを39か所設定し、ナイフ形石器1点、礫群様の礫集中部1基が出土した。ナイフ形石器は黒色安山岩製であり、MPとAs-BP Groupの間層から単独で出土した。礫集中部はATとMPの間層に出土、拳大の礫が8点出土すると共に、炭化材を伴っていた。

縄文時代 竪穴建物1棟、土坑11基を確認した。竪穴建物は一辺が4～5mの方形で、埋設された土器1点を床面で確認した。

古墳時代 竪穴建物30棟、掘立柱建物2棟、方形周溝墓1基を確認した。竪穴建物の多くが一辺4～5mの正方形であったが、7～8mの大型で掘り込みの深いものも数棟あった。竪穴建物の時期は4世紀後半から7世紀初頭と推定される。方形周溝墓は一辺が約18mで、周溝の幅は1～2m、深さは1mを超える箇所もあった。出土遺物から4世紀の構築と推定される。

奈良・平安時代 竪穴建物37棟、掘立柱建物13棟、土坑、ピットが検出された。竪穴建物は一辺3～4mの方形で、竈は北もしくは東壁に設置されたものが多い。掘立柱建物は総柱、側柱の両形式が確認できた。
(関 明愛)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



調査区(1区)全景(上が西)



旧石器時代のナイフ形石器出土状況(西から)



奈良時代の竪穴建物調査風景(西から)

27 やなぎた 柳田遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町

担当者 須田正久・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は、前橋市と伊勢崎市の市境にある多田山の東側丘陵上に立地する。多田山丘陵は標高110m程の南北に延びる丘陵で、遺跡地は西に緩やかに傾斜しており、東西の低地には水田や畑が広がっていた。また、遺跡の西側には今井見切塚遺跡と今井三騎堂遺跡、北側には多田山東遺跡が存在する。

調査の概要

本調査は、令和元年度一般国道50号線(前橋笠懸道路)建設事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、平成29年度から断続して調査が実施されている。丘陵の南側先端部6,200㎡が調査対象地である。

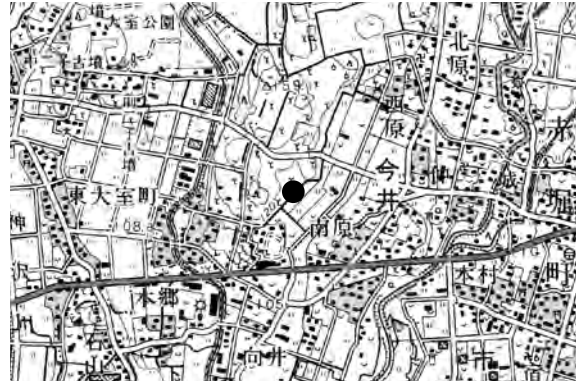
旧石器時代 調査区南端部と北端部において、暗色帯上位を中心に石刃や剥片など、約60点の石器が出土した。石器石材の多くは黒色安山岩だが、黒色頁岩やチャートなども僅かながら認められた。

縄文時代 検出された遺構は、後期の埋甕1基や土坑1基、ピット1基である。埋甕は堀之内式期の深鉢であり、逆位の状態で出土した。遺構外からは前期から後期にかけての土器片が出土した。

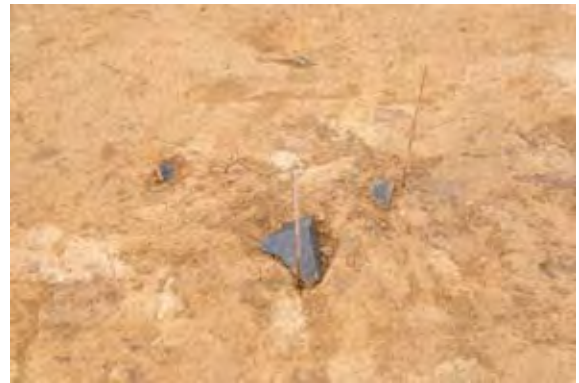
古代 古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての竪穴建物19棟、竪穴状遺構1基、土坑、ピットなどを検出した。竪穴建物の竈は白色粘土を用いて、簡易的に構築しているものが多い。このほか、焼失家屋を3棟検出した。

中近世 地下式坑3基、掘立柱建物2棟、溝7条、土坑10基(うち井戸4基)、ピットを検出した。地下式坑は東側や南側に入り口を備え、昇降用の階段が造られていた。砥石や石臼などの遺物が地下式坑内から出土している。また、検出された井戸は深いもので深度3m以上を測った。

(麻生敏隆)



国土院 5万分の1 地形図「前橋」使用



旧石器時代の遺物出土状況(南から)



縄文時代後期の埋甕(東から)



中世の地下式坑(西から)

28 ぬまた 沼田遺跡

所在地 伊勢崎市北千木町

担当者 平方篤行・梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡は伊勢崎市の市街地の南東1.5kmにあり、広瀬川と粕川に挟まれた、「伊勢崎台地」と呼ばれる平坦地に立地する。標高は54m前後である。

調査の概要

本調査は、令和元年度伊勢崎深谷線単独道路改築事業に伴う発掘調査である。調査面積は2,662㎡である。

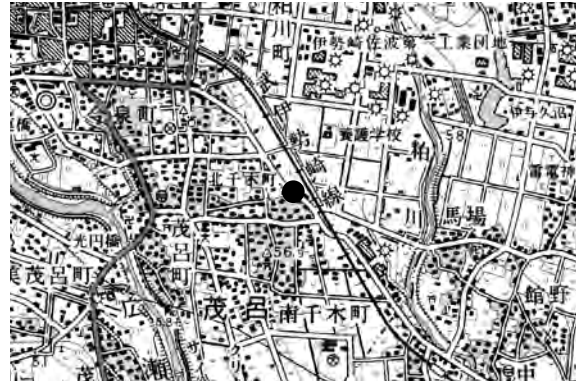
奈良・平安時代 竪穴建物14棟、溝9条を検出した。竪穴建物は殆どが近代の耕作などで削平されており、遺存状態は不良であった。壁の立ち上がりは辛うじて確認できる程度で、竈も支脚などが僅かに残存しているだけであった。出土した土師器の杯や椀から、14棟の竪穴建物は8世紀末から9世紀にかけて形成されたと考えられる。このほか、覆土中から複数の土錘が出土した竪穴建物があった。

溝の走向は南北に延びており、南に向かって傾斜していた。溝の廃絶後に竪穴建物が造られたものもあったが、覆土の観察からすると、いずれの遺構も近接した時期に属すると考えられる。

中近世 掘立柱建物11棟が検出された。時期を特定できる遺物の出土はなかったが、平安時代の竪穴建物が埋没した後に、掘立柱建物の柱穴が掘られていることから、中世以降のものと考えられる。

近世と思われる礎石建物2棟が検出された。礎石はすでに取り除かれていたが、礎石を支える根石が検出された。礎石の地業の覆土から、近世の陶磁器類や土人形が出土した。

(平方篤行)



国土地理院5万分の1地図「高崎」使用



遺跡遠景(西から)



平安時代の竪穴建物(南西から)



中世の掘立柱建物(北東から)

しもがいとびー
29 下谷戸B遺跡

所在地 みどり市大間々町塩原

担当者 石田 真・長澤典子

遺跡の立地

本遺跡は、みどり市大間々町塩原の渡良瀬川左岸に広がる下位段丘上に立地する。標高は約204mであり、遺跡の東には渡良瀬川支流となる塩沢川が流れている。

調査の概要

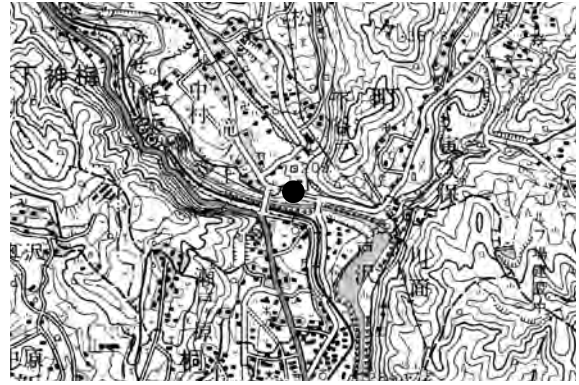
本調査は、令和元年度(一)小平塩原線滝ノ上工区道路改良事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、調査面積は1,520㎡である。

縄文時代 草創期の石器集中部1か所、前期竪穴建物2棟、後期竪穴建物2棟、土坑51基(陥し穴1基含む)、焼土1基、集石5基、埋甕2基等を検出した。

草創期の石器集中部は渡良瀬川の旧河道付近にあり、13×6mの範囲から石器製作に伴う剥片・碎片等が1,000点以上出土した。出土資料には石槍の未成品数点がある。これらの石器には隆起線土器が伴うことから、草創期前半のものと考えられる。

前期前半の竪穴建物は約5.5×5.0mの隅丸長方形で、地床炉を伴う。後期前葉の竪穴建物は直径約5.6mの円形で、石囲炉を伴う。多数の石鏃の他、石冠や耳飾り等の特殊な遺物も出土した。土坑は、出土した遺物から後期ものが多いと考えられる。陥し穴は平面形態が楕円形で、底面から逆茂木痕と推定される2基のピットが検出された。また、厚さ20～30cmの遺物包含層からは多量の縄文土器や石器が出土した。

古墳時代以降 土坑1基、焼土1基、炭化物集中部1か所を確認した。遺構覆土はいずれも榛名起源の軽石を含む黒色土であり、古墳時代以降の遺構である。また、この黒色土の上位には、巨大なロームブロックを含む厚さ約2mの二次堆積物が認められた。その堆積状況から、818(弘仁九)年の地震に起因する土砂崩れ堆積物と推定される。(長澤典子)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「桐生及足利」使用



遺跡遠景(奥が赤城山、左が渡良瀬川)(南東から)



縄文時代草創期の遺物出土状況(北から)



縄文時代の調査区全景(上が北)

30 きりゆうしんまちすいるあと 桐生新町水路跡

所在地 桐生市本町

担当者 石田 真・長澤典子

遺跡の立地

本遺跡は、桐生市本町1・2丁目にある重要伝統的建造物群保存地区内に所在する。桐生市の南側を東流する渡良瀬川に向かって緩く傾斜する平坦部に立地しており、遺跡の標高は114m前後である。

調査の概要

本調査は、令和元年度(主)桐生田沼線社会資本総合整備(防災・安全)(無電柱化・重点)事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、調査面積は104㎡である。水路跡は、昭和40年代まで通水されていたとみられており、その後水路跡の石積みを残したまま埋められ、上部に歩道が造られている。

本年度調査では、21区から35区の計15か所の発掘調査を行い、34・35区を除く13か所で水路跡を検出した。21区と27区では水路両側の石積みを検出し、残りの11か所の調査区では水路東側の石積みを検出した。さらに21区では、両側の石積みの上に架ける石橋も一部検出した。石橋の素材は、御影石製8枚、コンクリート製1枚であった。24区では、水路石積みの間に板を固定するための溝状の加工が施された石が立ててあった。さらに水路内にも表面を加工した石を2枚敷き並べており、堰の跡と考えられる。各区の水路の石積みの様相は調査区ごとに異なり、一部では水路の石積みの更に下部から陶管や鉛管が検出された。補修・改修を重ねながら水路を維持していたものと考えられる。

水路内に堆積した砂層からは、江戸時代の陶磁器や、寛永通宝や天保通宝等の古銭、近現代の陶磁器、ガラス瓶、レンガ、瓦、そして昭和30年代の硬貨等の様々な時代の遺物が出土した。なお、本年度に取り上げた水路の石積みの礫は、石橋9点を含めて計946点であった。

(長澤典子)



国土地理院 5万分の1 地形図「桐生及足利」使用



水路遺構の石橋(北から)



水路遺構の石積(西から)



水路遺構の堰調査風景(北西から)

31 はまちょう 浜町遺跡

所在地 太田市本町

担当者 平方篤行・梅村唯斗

遺跡の立地

本遺跡は由良台地の東側にあり、金山丘陵の南に続く平坦な台地上に立地する。八瀬川を挟んで東西の台地に遺構が密集する。

調査の概要

本調査は、一級河川八瀬川社会資本総合整備(防災・安全社会資本整備交付金)(3か年)事業に伴う発掘調査であり、平成12年度から断続的に発掘調査が実施されている。本年度の調査はそれらに続くものであり、東武伊勢崎線と東武桐生線の合流部分付近の範囲954㎡が調査対象地である。

古代 竪穴建物や土坑、溝、ピットを検出した。竪穴建物の北壁や東壁からは竈が検出された。同一の竪穴建物内から複数の竈が検出されたことから、造り替えが行われていたと推定される。その他に、竈の袖の構築材に土器を多量に使用したと思われる竪穴建物も確認された。また、竪穴建物から埴輪片が少量出土した。これらは遺跡周辺に点在する古墳に樹立された埴輪が何らかの理由により混入したと考えられる。

出土した土器から判断して、土坑やピットの多くは竪穴建物と同一時期のものと推定される。土坑の一部には、底面の形状から陥し穴と推定されるものも認められた。

中近世 溝や井戸を検出した。溝からは19世紀に製作された瀬戸美濃の陶磁器等が出土した。

(梅村唯斗)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「深谷」使用



古代の調査区北部全景(東から)



古代の竪穴建物の遺物出土状況(西から)



竈掘方遺物出土状況(北から、奥が焚口方向)

32 ^{びしゃもん}比沙門遺跡

所在地 太田市古戸町

担当者 石田 真・長澤典子

遺跡の立地

本遺跡は太田市古戸町に所在する。東は邑楽郡大泉町に、南は利根川を挟み埼玉県熊谷市(旧妻沼町)に接している。遺跡は利根川と石田川の合流点付近の低地に立地し、標高は約30mである。

調査の概要

本調査は、令和元年度(一)古戸館林線社会資本総合整備(防災・安全)(交安・重点)事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査で、調査面積は2,555㎡である。

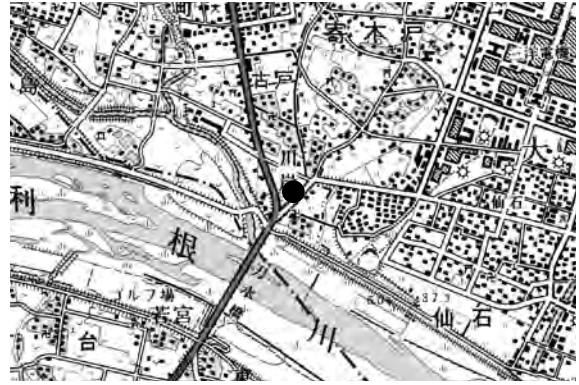
古代 遺構確認を行った洪水堆積層の中からは、8世紀代の土師器(坏)等が出土したが、遺構は検出されなかった。

中近世 調査区東側を中心に、溝17条を確認した。調査区の間には、現水路があるため別遺構としたが、同一の溝も含まれている。

1区の中央やや東に位置する4号溝は、他の溝と比較して規模が大きく、本遺跡内の主体的な水路として整備された可能性がある。陶磁器類を中心に瓦や木製品などが出土しており、遺物の年代から近世の遺構と考えられる。さらに4号溝の中央付近から南西側縁辺にかけて、11本の木杭列が検出された。そのうち、残存状態の良い2本を断ち割りして取り上げたところ、丸木を利用し先端に加工が施されていた。どちらも長さが100cm以上あり、地中深く打ち込まれていた。木杭は土留めなどの目的で設置したものと想定される。

4号溝以外の溝については、遺物の出土が少ないことから、時期は不明である。しかし、僅かな出土遺物や溝の埋没土の様相から、中近世の所産と考えられる。異なる時期の溝が互いに重複して検出されたため、同一箇所に繰り返し溝が掘削されたと考えられる。

(長澤典子)



国土地理院 5万分の1 地形図「深谷」使用



遺跡全景(北から 右上が利根川)



中近世の溝全景(南から)



近世の溝の縁に並ぶ木杭列(北東から)

33 陣谷遺跡

所在地 館林市楠町

担当者 須田正久・平方篤行・岩上千鶴
鈴木佑太郎・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は東北自動車道館林ICの北方約2km、利根川と渡良瀬川に挟まれた邑楽・館林台地の北端部にあり、城沼の北東部の微高地から低地にかけて立地する。標高は約17m、北側に当郷遺跡、東側に羽附陣屋跡が隣接し、西方には山王山古墳が所在する。

調査の概要

本調査は、平成31年度(一)山王赤生田線バイパス社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は3,586㎡である。本年度は3・4区の調査を実施した。3区は主に低地となっているのに対し、4区は微高地となっている。

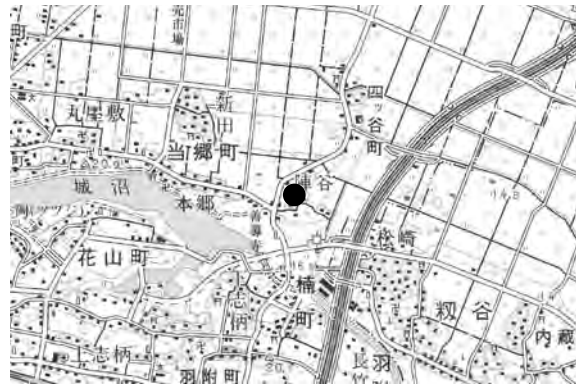
縄文時代 前期から晩期の土器・石器類が低地部包含層から出土した。また、土坑が検出された。

弥生時代 低地部包含層から土器片が出土した。

古墳時代～古代 3区では溝と盛土状遺構、遺物集中を確認した。溝からは、土器片とともに木製品が出土した。盛土状遺構は低地部のAs-B下位から確認した。古墳時代後期の遺物集中部では、土師器の杯の中から白玉が出土した。4区の微高地部では、古墳時代後期の集落が検出された。検出された竪穴建物は1辺が6～7mのものが中心であったが、10m規模のものも認められた。竪穴建物62棟のうち6棟は焼失建物であった。竈は設置される方位や、煙道の長短、カマドの構築材など、形態や構築方法に多様性が認められた。遺物は、土師器や須恵器、白玉、土玉等が床面や貯蔵穴から密集した状態で出土した。

中近世 溝や土坑が検出された。土坑内や包含層から内耳鍋形土器や陶磁器等が出土した。

(鈴木佑太郎)



国土地理院5万分の1地形図「古河」使用



古墳時代～古代の集落(4区)全景(上側が西)



古墳時代の竪穴建物(南から)



古墳時代の竪穴建物の貯蔵穴(東から)

V 付 篇：群馬県内の埋蔵文化財関連事業

1 令和元年度群馬県内発掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	群馬県教育委員会 文化財保護課 上野国分寺跡	前橋市元総社 町、高崎市東 国分町・引間 町	県教委 橋本 淳	史跡整備・308	令和元. 5. 8 ～令和元. 9. 25	南辺築垣、伽藍地周縁部の確認調査
2	県内遺跡	群馬県内	県教委 飯森康広 黒澤照弘 阿久津聡 宮下 寛 田村 博 川口 亮	平成31年度 群馬県内公共開発 に伴う県内遺跡発 掘調査	平31. 4. 1 ～令和2. 3. 31	試掘、確認調査
1	前橋市 上野国府等範囲内容 確認調査	前橋市元総社 町	市教委 阿久澤智和 齋藤 颯 梅澤克典	区画整理・271	令和元. 9. 24 ～令和2. 2. 28	古代竪穴建物、礎石建物、道路、溝、土坑
2	上細井中西部遺跡群 No. 2	前橋市上細井 町	市教委 小峰 篤 藤井賢一郎 村越純子	区画整理・12,050	令和元. 6. 6 ～令和2. 1. 17	縄文竪穴建物、古墳～古代竪穴建物、掘立柱建物、溝
3	元総社蒼海遺跡群 (133)	前橋市元総社 町	市教委 阿久澤智和 齋藤 颯 梅澤克典	区画整理・203	令和元. 6. 14 ～令和元. 12. 20	古墳～古代竪穴建物、掘立柱建物、基壇建物、土坑、溝
4	元総社蒼海遺跡群 (134)	前橋市総社町 総社	スナガ環境測設(株) 瀧澤典雄	区画整理・259	令和元. 7. 16 ～令和元. 9. 26	古墳、古代竪穴建物、溝
5	元総社蒼海遺跡群 (135)	前橋市元総社 町	技研コンサル(株) 山田誠司	区画整理・304	令和元. 9. 5 ～令和元. 9. 24	蒼海城堀
6	元総社蒼海遺跡群 (136)	前橋市元総社 町	技研コンサル(株) 山田誠司	区画整理・696	令和元. 10. 15 ～令和元. 11. 29	古墳～古代竪穴建物、掘立柱建物、基壇建物、土坑、溝
7	元総社蒼海遺跡群 (137)	前橋市元総社 町	技研コンサル(株) 山田誠司	区画整理・1,459	令和元. 12. 5 ～令和2. 2. 13	古墳～古代竪穴建物、土坑、溝
8	元総社蒼海遺跡群 (138)	前橋市元総社 町	技研コンサル(株) 前田和昭	区画整理・702	令和元. 12. 16 ～令和2. 1. 6	蒼海城堀
9	元総社蒼海遺跡群 (139)	前橋市元総社 町	技研コンサル(株) 前田和昭	区画整理・313	令和元. 12. 10 ～令和元. 12. 24	古代竪穴建物、道路状遺構
10	元総社蒼海遺跡群 (11街区)	前橋市元総社 町	市教委 神宮 聡 岩丸展久 並木史一 寺内勝彦	区画整理・143	令和元. 11. 14 ～令和元. 11. 19	古代竪穴建物、鍛冶遺構、周溝墓
11	西部第一落合遺跡群 (1)	前橋市元総社 町	技研コンサル(株) 佐野良平	区画整理・2,524	令和元. 12. 18 ～令和2. 3. 24	古代竪穴建物、溝、畠
12	天神風呂N地点遺跡	前橋市茂木町	山下工業(株) 青木利文	93	令和元. 9. 20 ～令和元. 10. 10	縄文土坑、古代竪穴建物
13	前橋城(市役所西 地点)	前橋市大手町	技研コンサル(株) 佐野良平	669	令和元. 11. 5 ～令和元. 11. 26	前橋城堀、古代竪穴建物
14	西大室上縄引遺跡Ⅱ	前橋市西大室 町	山下工業(株) 青木利文	300	令和元. 10. 15 ～令和元. 11. 2	古墳竪穴建物、古代地割
15	山王廃寺跡	前橋市総社町 総社	市教委 阿久澤智和 齋藤 颯 村越純子	4	令和2. 3. 23 ～令和2. 3. 25	塔基壇北辺、礎石と考えられる石
16	小島田八日古墳	前橋市小島田 町	市教委 並木史一 小島純一 前原 豊	66	令和元. 5. 8 ～令和元. 6. 1	古墳

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	高崎市 綿貫遺跡群・ 下滝遺跡群	高崎市綿貫町・ 下滝町	市教委 大野義人 齋藤 聡 外所光明 櫻井 衛 深澤みどり 須永 忍 伊藤 肇 村井田雅明 秋元恵理子	産業団地造成・ 6,810	平31.4.1 ～令2.3.31	古墳～古代竪穴建物250、溝多数
2	棟高遺跡群第19次	高崎市棟高町	市教委 神戸聖語	中央第二土地区画 整理・2,750	平31.4.1 ～令2.3.31	古代竪穴建物8、古代掘立柱建物1
3	わかたかなぼりつかい 若田金塚遺跡3	高崎市若田町	市教委 南雲博文 田村 孝	若田浄水場ろ過池 更新工事・620	平31.4.4 ～令元.8.30	弥生～古代竪穴建物10、縄文～古代土坑、 柱穴多数
4	たごうしゅうへんいせきだい 多胡碑周 辺遺跡第 9次	高崎市吉井町	市教委 小根澤雪絵 相京建史 櫻井 条	重要遺跡範囲確 認・1,155	平31.4.5 ～令元.11.14	古代溝1、竪穴建物1、
5	おろしうりちぼしゅうへんいせき 卸売市場周 辺遺跡	高崎山下大類 町・栗崎町・柴 崎町	市教委 外所光明 奈良祥吾 櫻井 衛 村井田雅明 綿貫鋭次郎 櫻井 条 坂井 隆	産業団地造成・ 8,900	平31.4.29 ～令2.3.31	古墳～古代掘立柱建物1、土坑28、古代～ 近世溝90、土坑33
6	しものじょういせきぐんたいほちじ 下之城遺跡群第8次	高崎山下之城 町	市教委 茂木由行	高崎操車場跡地周 辺土地区画整理・ 2,570	令元.5.8 ～令2.3.27	古墳旧河道、古代水田、中世城館
7	しゆくよこてひぐちいせきだい 宿横手樋口遺跡第2 次	高崎市宿横手 町	市教委 秋元恵理子 奈良祥吾	都市計画道路築 造・675	令元.6.1 ～令元.11.30	古墳溝2、水田、古代竪穴建物8、溝2
8	あしかだいしだいせきだいにじ 足門石田遺跡第2次	高崎市足門町	市教委 飯島克巳	市道群馬-4-7 1号線道路改良工 事・230	令元.6.3 ～令元.7.3	古代溝2、近世井戸1
9	くらがのしもしょうりくいせき 倉賀野下正六遺跡	高崎市倉賀野 町	スナガ環境測設(株) 板垣 宏	宅地造成・1,798	令元.6.10 ～令元.8.31	中世～近世溝23、土坑11、柱穴95
10	ひやみずうしけいせき 冷水牛池遺跡	高崎市冷水町	(株)測研 大塚昌彦	認定こども園建設	令元.7.1 ～令元.7.19	古墳島、古代竪穴建物3、土坑3
11	やわたびしやもんいせきだい 八幡毘沙門遺跡第2 次	高崎市八幡町	市教委 神戸聖語	枝線下水道築造工 事・82.2	令元.7.12 ～令2.3.31	古墳平塚古墳周堀
12	かねこみなみじゆさんちようい 金古南十三町遺 跡	高崎市金古町	高澤考古学研究所 澤田福宏	学校グラウンド造成 工事・726	令元.8.1 ～令元.9.13	古墳～古代島、溝6、土坑5、柱穴7
13	かねこまちうらいせきさん 金古町裏遺跡3	高崎市金古町	毛野考古学研究所 南田法正	宅地造成・122	令元.8.19 ～令元.9.27	古代竪穴建物12、掘立柱建物2、溝1、柱 穴70
14	いでやつがしらいせきだい 井出八頭遺跡第7 次	高崎市井出町	市教委 山本ジェームズ 奈良祥吾	都市計画道路堤下 線整備・400	令元.8.23 ～令2.3.31	古墳～古代竪穴建物21、古代溝2
15	いでいせきぐん 井出遺跡群	高崎市井出町	市教委 南雲博文 田村 孝	浜川運動公園拡張 整備	令元.9.2 ～令元.12.6	弥生～古墳竪穴建物4、掘立柱建物1、古 墳水田、溝1
16	くらがのしもてんじんいせきだい 倉賀野下天神遺跡第 9次	高崎市倉賀野 町	市教委 茂木由行	倉賀野駅北区画整 理・190	令元.10.8 ～令元.11.15	古代水田、古代道路状硬化面、近世溝1
17	くらがのなかまといせき 倉賀野中町遺跡	高崎市倉賀野 町	歴史考房まほら 山崎芳春	店舗建設・451	令元.11.11 ～令元.11.22	古代堀1
18	なかばやしいせきだいにじ 中林遺跡第2次	高崎市三ツ寺 町	市教委 田辺芳昭	仮校舎建設・130	令元.12.13 ～令2.1.31	古代溝2、土坑3
19	やなかのぐりいせき 矢中野栗遺跡	高崎市矢中町	毛野考古学研究所 春里桃子 井上 太	宅地造成・172	令元.12.23 ～令2.1.18	古代水田、溝2、近世溝1
20	かしわぎさわなかざわいせき 柏木沢中沢遺跡	高崎市箕郷町	高澤考古学研究所 澤田福宏	宅地造成・90	令元.12.24 ～令2.1.24	縄文中期竪穴状遺構1、土坑8

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
21	多比良吉ツ家遺跡	高崎市吉井町	市教委 小根澤雪絵	農業基盤整備・1,350	令元.12.26 ～令2.3.26	古墳～古代竪穴建物8、土坑8
22	しもこばなやしきうら いせき 下小竈屋敷裏遺跡	高崎山下小竈町	市教委 奈良祥吾 飯島克巳	農業基盤整備・282	令2.1.7 ～令2.3.31	古代竪穴建物21、溝4、土坑7
23	わたぬきつづみにし いせき 綿貫堤西遺跡	高崎市綿貫町	市教委 秋元恵理子	都市計画道路矢中下斎田線整備・910	令2.1.9 ～令2.3.5	古代水田、溝1
24	かみたきしんぼりきたい いせき 上滝新堀北遺跡	高崎山上滝町	(株)測研 高林真人	認定こども園建設・390	令2.1.27 ～令2.3.31	古代竪穴建物7、井戸2、溝9、土坑62、柱穴53
1	桐生市 因幡屋敷遺跡	桐生市東二丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・1	平31.4.16	なし
2	なぐも いせき 南雲遺跡	桐生市黒保根町下田沢	市教委 新井雅幸	駐車場・2	令元.5.8 ～令元.5.9	なし
3	どうじはら いせき 童子原遺跡	桐生市川内町二丁目	市教委 新井雅幸	歯科診療所・53	令元.6.25 ～令元.6.26	なし
4	だいゆういんまえ いせき 大雄院前遺跡	桐生市広沢町三丁目	市教委 新井雅幸	宅地造成・609	令元.5.20 ～令元.6.28	縄文竪穴建物8、縄文土坑110、古墳竪穴建物42、時期不明土坑5
5	よりやま いせき 寄山1遺跡	桐生市菱町一丁目	市教委 新井雅幸	太陽光発電施設・126	令元.6.12 ～令元.7.1	時期不明柱穴数基
6	いこうじのみ いせき 医光寺南遺跡	桐生市黒保根町上田沢	市教委 新井雅幸	太陽光発電施設・3	令元.7.1	なし
7	につかわにひらうともものいづか いせき 新川24(桃井塚)遺跡	桐生市新里町新川	市教委 加部二生	個人住宅・26	令元.7.8 ～令元.7.22	竪穴状遺構、土坑
8	どうじはら いせき 童子原遺跡	桐生市川内町二丁目	市教委 新井雅幸	倉庫・6	令元.7.23 ～令元.7.25	縄文土坑3、平安竪穴建物2
9	じんだいら いせき 陣平遺跡	桐生市相生町三丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・3	令元.7.26	なし
10	ふじみがおかい いせき 富士見ヶ丘1遺跡	桐生市広沢町二丁目	市教委 新井雅幸	建売住宅・78	令元.8.1 ～令元.8.8	なし
11	ふじみがおかい いせき 富士見ヶ丘1遺跡	桐生市広沢町二丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・2	令元.8.23	なし
12	あらやしきまえ いせき 新屋敷前遺跡	桐生市川内町三丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・3	令元.9.2	なし
13	につかわ いせき 新川5遺跡	桐生市新里町武井	市教委 加部二生	個人住宅・81	令元.9.20	古墳竪穴建物、溝状遺構
14	ほろかわないげんやしき いせき 細川内膳屋敷遺跡	桐生市菱町三丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・1.5	令元.9.30	なし
15	もものいづか いせき 桃井塚遺跡	桐生市新里町新川	市教委 加部二生	個人住宅・148	令元.8.16 ～令元.12.16	中世墓、竪穴状遺構3ほか
16	しもだ いせき 下田遺跡	桐生市広沢町六丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・1	令元.12.16	なし
17	よねざわ いせき 米沢1遺跡	桐生市菱町一丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・3	令2.1.17	なし
18	だいゆういんまえ いせき 大雄院前遺跡	桐生市広沢町三丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・3	令2.2.25	縄文竪穴建物1、古墳竪穴建物1
19	やまのこし いせき 山ノ腰遺跡	桐生市菱町一丁目	市教委 新井雅幸	携帯電話基地局・1	令2.3.2	
20	なしのきえい いせき 梨子木M遺跡	桐生市新里町武井	市教委 加部二生	個人住宅・357	令元.11.5 ～令2.3.19	古墳～奈良竪穴建物4、溝状遺構1ほか
21	たかのす いせき 鷹ノ巣遺跡	桐生市川内町二丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・3	令2.3.30	なし
22	だいゆういんまえ いせき 大雄院前遺跡	桐生市広沢町三丁目	市教委 新井雅幸	宅地造成・1,162	令元.10.15 ～令2.3.31	縄文竪穴建物4、土坑45、古墳竪穴建物24、
1	いせき 伊勢崎市 たじまやへいきゆうたく 田島弥平旧宅	伊勢崎市境島村	市教委 和久美緒 女屋慎介	内容確認・20	令元.5.27 ～令元.7.29	建物跡、排水施設
2	いせきじょう 伊勢崎城跡	伊勢崎市大手町・曲輪町	山下工業(株) 青木利文	区画整理・1,300	令元.6.1 ～令元.9.4	中世掘立柱建物3、溝3、竪穴建物2、土坑44、近世城堀2、近代建物6、溝1、土坑3

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
3	千木遺跡・下茂呂古墳群	伊勢崎市南千木町	(株)甲セオリツ 西川 制	区画整理・95	令元. 8. 21 ～令元. 8. 31	古墳溝1、性格不明遺構1、近世土坑3、井戸1
4	今井学校遺跡	伊勢崎市赤堀今井町一丁目	山下工業(株) 永井智教	倉庫建設・3,971	令元. 10. 1 ～令元. 12. 27	古墳豪族居館1、古墳2、竪穴建物10
5	南原遺跡	伊勢崎市赤堀今井町一丁目	毛野考古学研究所 南田法正	分譲地造成・738	令元. 10. 9 ～令元. 12. 28	縄文竪穴建物1、古墳竪穴建物1、古代竪穴建物15、縄文～古代土坑80
6	北西山遺跡	伊勢崎市田部井町一丁目	市教委 出浦 崇	分譲地造成・20	令元. 10. 15 ～令元. 10. 18	古墳竪穴建物1
7	喜多町遺跡	伊勢崎市喜多町	毛野考古学研究所 浅間 陽	区画整理・720	令元. 10. 15 ～令元. 2. 28	古墳前方後方形周溝墓1、竪穴建物2、古墳～近現代溝47、縄文～近現代土坑28、中近世井戸8
8	頼光塚遺跡	伊勢崎市東小保方町	市教委 出浦 崇	分譲地造成・87	令元. 10. 23 ～令元. 11. 6	古墳竪穴建物1、溝1
9	下瀨名遺跡	伊勢崎市境下瀨名	(株)シン技術コンサル 岡本範之	倉庫建設・770	令元. 10. 28 ～令元. 12. 25	古墳1、古墳～古代竪穴建物22、土坑31、溝2
10	三軒屋遺跡	伊勢崎市上植木本町	市教委 出浦 崇 横澤真一	内容確認・300	令元. 11. 11 ～令元. 2. 1. 18	区画溝1、掘立柱建物1、土坑1
1	太田市 反丸遺跡	太田市吉沢町	市教委 遠坂純伸 上野優真 岩井直人 毛野考古学研究所 伊藤順一 須田 茂	産業団地・13,000	令元. 4. 1 ～令元. 2. 3. 31	古墳竪穴建物173、土坑295、溝15
2	東部地区遺跡群	太田市岩松町	市教委 岩松大輔	道路築造・35	令元. 5. 7 ～令元. 5. 15	古代竪穴建物7、土坑2、柱穴2
3	西田島遺跡	太田市下田島町	市教委 長谷川幸男	道路築造・78	令元. 5. 13 ～令元. 5. 30	縄文土坑3、溝、柱穴
4	推定東山道駅路溜池地区、大根西田遺跡	太田市新田上中町・新田溜池町・新田大町	毛野考古学研究所 和久裕昭 志村 哲	工業団地・6,300	令元. 5. 25 ～令元. 11. 1	古代～中世道路跡4、古代竪穴建物1、古代柵状遺構1
5	浜町遺跡	太田市本町	市教委 長谷川幸男	道路築造・78	令元. 6. 10 ～令元. 7. 8	古墳竪穴建物2、古代竪穴建物4
6	浜町遺跡	太田市浜町	市教委 長谷川幸男	道路築造・86	令元. 2. 1. 6 ～令元. 2. 1. 30	古代～中世土坑4、中世溝2
7	高林鶴巻古墳群	太田市高林南町	市教委 長谷川幸男	道路築造・215	令元. 2. 1. 27 ～令元. 2. 2. 17	古墳周堀2
8	東部地区遺跡群	太田市阿久津町	市教委 岩松大輔	道路築造・36	令元. 2. 2. 6 ～令元. 2. 2. 13	中世地下式坑3、近世溝1
1	沼田市 沼田城跡	沼田市西倉内町	市教委 永井三郎	ぬまた公園長期整備構想・45	令元. 11. 5 ～令元. 12. 20	近世建物跡1、近世溝跡1
2	日影平遺跡	沼田市戸鹿野町字日向平	市教委 永井三郎	集合住宅建設・51	令元. 2. 3. 9 ～令元. 2. 3. 11	弥生環壕1
1	館林市 広内町1遺跡	館林市広内町	市教委 宮田圭祐	宅地造成・238	平31. 4. 16 ～平31. 4. 23	溝3
2	間堀1遺跡	館林市上赤生田町	市教委 宮田圭祐	ガス・電気・水道・166	令元. 5. 10 ～令元. 5. 23	土坑12
3	北小袋遺跡	館林市近藤町	市教委 宮田圭祐	ガス・電気・水道・93	令元. 7. 26 ～令元. 8. 1	炭焼き窯1、土坑6
4	大街道遺跡	館林市大街道三丁目	市教委 宮田圭祐	個人住宅・46	令元. 11. 8 ～令元. 11. 15	土坑1
5	館林城跡・城下町	館林市加法師町	市教委 宮田圭祐	個人住宅・30	令元. 11. 29 ～令元. 12. 7	竪穴建物址1、焼成土坑1
6	大袋I遺跡	館林市花山町	市教委 宮田圭祐	個人住宅・6	令元. 2. 1. 9 ～令元. 2. 1. 10	—
7	天神遺跡	館林市新栄町	市教委 宮田圭祐	集合住宅・132	令元. 2. 1. 16 ～令元. 2. 1. 25	溝3、土坑2

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
8	館林城跡・城下町、 尾曳町2遺跡	館林市尾曳町	市教委 宮田圭祐	その他建物・72	令2.2.27 ～令2.3.11	下級武士長屋跡、溝8、土坑6
1	渋川市 見立下大窪遺跡	渋川市赤城町 見立字下大窪	市教委 後藤佳一	農道建設工事・ 14	令元.7.8 ～令元.8.1	屋外カマド2
2	後田遺跡群	渋川市有馬字 後田	市教委 平石冬馬	個人住宅建設工 事・432	令2.3.11 ～令2.3.17	竪穴建物2、土坑3、溝1、柱穴1、土師器
1	藤岡市 牛田・川除地区遺跡 群	藤岡市牛田・ 川除	市教委 文挾健太郎 技研コンサル(株) 佐野良平	農業基盤整備事 業・6,700	平31.4.1 ～令2.3.31	古墳～平安竪穴建物45、道路状遺構1、火 葬土坑10
2	笹川沿岸地区遺跡群	藤岡市本郷	市教委 針谷友規 毛野考古学研究所 高橋清文 有山径世 宮田忠洋	農業基盤整備事 業・3,128	平31.4.1 ～令2.3.31	古墳3、古墳粘土採掘坑1、古墳～平安竪 穴建物110、古代～中世道路状遺構4
3	中I遺跡B地点	藤岡市中	市教委 井上 勉 スナガ環境測設(株) 権田友寿	JAたのふじ統合 新支所新築工事・ 539	令元.6.10 ～令元.8.31	平安竪穴建物15、溝4、土坑11、柱穴20
4	神田神明B遺跡C 地点	藤岡市神田	市教委 井上 勉 毛野考古学研究所 土井道昭 高橋清文 宮田忠洋 矢島英敏 竹中洋治 有山径世 井上 太 上原真澄	防災公園建設事 業・5,332	令元.7.1 ～令2.5.2	古墳～平安竪穴建物84、奈良平安掘立柱 建物3、鍛冶炉1、中～近世屋敷跡
5	大林E遺跡	藤岡市中栗須	市教委 井上 勉 毛野考古学研究所 山本千春 山本杏子 春里桃子	北部環状線街路事 業・5,553	令元.9.5 ～令2.5.2	奈良～平安竪穴建物44、掘立柱建物11、中 世道路状遺構1、土坑150
6	大林E遺跡	藤岡市中栗須	市教委 井上 勉 パリノ・サーヴェイ(株) 高野和弘 大塚昌彦	北部環状線街路事 業・258	令2.1.27 ～令2.2.19	奈良～平安竪穴建物2、奈良掘立柱建物 1、古墳配石1、平安溝1、土坑5
1	富岡市 史跡富岡製糸場	富岡市富岡	市教委 水田雅美 津金澤吉茂	学術調査・300	令元.5.7 ～令2.3.23	乾燥場、繭扱場、社宅85に関する遺構等
2	一ノ宮長坂遺跡	富岡市富岡	市教委 横田大輔 笠原佳真	土地改良・3,900	令元.5.30 ～令元.10.31	古墳竪穴建物6、古代竪穴建物54、掘立柱 建物1、礎石3、基壇1、石敷1
3	一ノ宮東丹生森遺 跡	富岡市富岡	市教委 横田大輔 笠原佳真	工場団地・4,000	令元.11.11 ～令2.3.19	弥生竪穴建物6、古墳竪穴建物7、古代竪 穴建物27、土坑12、溝2、柱穴59、水田跡1
4	富岡坪之内遺跡	富岡市富岡	(株)シン技術コンサル 福嶋正史	道路・253	令元.9.17 ～令元.10.10	古代竪穴建物1、井戸1、中世掘立柱建物 3、溝3、土坑2、柱穴67
1	安中市 安中城Ⅲ	安中市安中3 丁目字西町	市教委 鳥居貴庸 関根史比古	学童クラブ建設事 業・455	令元.5.7 ～令元.5.15	中世～近世の堀1、土塁1
2	西台I・II遺跡	安中市安中 西台	市教委 鳥居貴庸 関根史比古	都市計画街路事 業・986	令元.8.1 ～令元.11.30	弥生～古代の竪穴建物跡23、土坑8、溝2
1	みどり市 向山遺跡第9地点	みどり市笠懸 町鹿	市教委 田口佳菜	西鹿田グリーン パーク造成工事・ 516	令元.7.16 ～令元.9.19	縄文竪穴建物4以上、土坑34以上、柱穴状 遺構42以上
2	阿左美沼北遺跡第3 地点	みどり市笠懸 町阿左美	市教委 田口佳菜	葬祭場建設・80	令元.8.27 ～令元.8.30	縄文土坑2、古代竪穴建物1、柱穴状遺構 5
3	包蔵地外	みどり市笠懸 町鹿	市教委 萩谷千明	小学校建設・261	令元.10.15 ～令元.10.21	縄文土坑1、古代竪穴建物1、土坑6以 上、柱穴状遺構5

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
4	むこうやま いせきだいのちてん 向山遺跡第10地点	みどり市笠懸 町鹿	市教委 田口佳菜	西鹿田グリーン パーク造成工事・ 466	令元. 9. 18 ～令元. 11. 29	縄文竪穴建物2、土坑8以上、柱穴状遺構 27以上
5	ほうぞうちがい 包蔵地外	みどり市笠懸 町鹿	市教委 田口佳菜	小学校建設・591	令2. 2. 3 ～令2. 3. 2	古代竪穴建物3、土坑6、柱穴状遺構11
1	しもにたまち 下仁田町 こんごうがやいせき 金剛萱遺跡	下仁田町大字 青倉字金剛萱	金剛萱遺跡研究会 麻生敏隆	学術調査・20	平31. 4. 27 ～平31. 4. 29 令元. 8. 31 ～令元. 9. 1	旧石器前期、石器41点
1	かんらまち 甘楽町 にいやいせき 新屋遺跡	甘楽町大字天 引字新屋・大 字天引字向原 他	町教委 小安和順 中村岳彦	スマートインター チェンジ建設に伴 う町道新設及び改 良工事・2,010	令元. 11. 11 ～令2. 2. 13	縄文中期竪穴建物1、弥生中期土坑2、後 期竪穴建物8、古墳後期竪穴建物18、土坑 3、古代竪穴建物6
1	むがしあがのままち 東吾妻町 あつたなからいせき 厚田中村遺跡	東吾妻町大字 厚田	町教委 吉田智哉	鉄塔建設・91	令元. 10. 1 ～令元. 11. 4	古代竪穴建物、古代掘立柱建物、古代柱穴 列、古代土坑、古代柱穴、近世土坑
1	ながのほらまち 長野原町 あかばねいせき 赤羽遺跡	長野原町大字 字赤羽根	町教委 富田孝彦	太陽光発電所・ 9,454	平31. 4. 1 ～令元. 7. 19	縄文土坑、平安竪穴建物
2	はやしなかはらいちいせき 林中原Ⅰ遺跡	長野原町大字 林字中原	町教委 細川剛史	町営団地・370	令元. 5. 15 ～令元. 6. 11	縄文後期土坑29
3	やまねさんいせき 山根Ⅲ遺跡	長野原町大字 横壁字山根	町教委 富田孝彦	土地改良・700	令元. 6. 21 ～令元. 7. 11	土坑7（うち4基が陥し穴）
4	いはいわかげん 居家以岩陰群	長野原町大字 長野原字居家 以	國學院大學 谷口康浩	学術調査・25	令元. 8. 22 ～令元. 9. 19	縄文早期埋蔵人骨25体以上
5	かんないせき 観奈遺跡	長野原町大字 大津字観奈	町教委 富田孝彦	太陽光発電所建 設・129	令元. 12. 11 ～令元. 12. 16	遺構なし
6	ほらぐちいせき 洞口遺跡	長野原町大字 大津字洞口	町教委 富田孝彦	太陽光発電所建 設・60	令元. 12. 11 ～令元. 12. 12	縄文前期前半集石土坑
1	かわばら 川場村 てんじんしもしゆくほらいせき 天神下宿原遺跡	川場村大字天 神	村教委	57	令2. 2. 17 ～令2. 2. 29	川場村村上宿原土地改良事業に伴う発掘 調査
1	めいわまち 明和町 とうたいなりつかこふん 斗合田稲荷塚古墳	明和町斗合田	町教委 立川明浩	工業団地用地造 成・50	令2. 1. 6 ～令2. 3. 31	古墳1基
1	おおいづままち 大泉町 さかたにいせき 坂田遺跡	大泉町坂田	町教委 関本寿雄 金子一穂	建売分譲住宅5 棟・1,212	令元. 5. 22	溝1、検出
2	おおいづままちあいのほらいせき 大泉町間之原遺跡	大泉町城之内	毛野考古学研究所 山本千春	都市計画道路上小 泉古海線・360	令元. 5. 31 ～令元. 6. 19	溝1、土塁、外濠
3	よこまちいせき 横町遺跡	大泉町富士	町教委 関本寿雄 金子一穂	賃貸住宅2棟・ 3,373	令元. 12. 6、 令元. 12. 24、 令元. 12. 27	カクラン、検出なし
4	よこまちいせき 横町遺跡	大泉町富士	町教委 関本寿雄 金子一穂	分譲個人住宅8 棟・1,590	令元. 12. 6、 令元. 12. 24、 令元. 12. 27	カクラン、検出なし

※群馬県埋蔵文化財調査事業団の発掘調査は「Ⅱ事業概要1 発掘調査事業概要」参照

2 令和元年度群馬県内整理事業一覧

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	群馬県教育委員会 文化財保護課 上野国分寺跡	県教委 橋本 淳	令元. 9. 26 ～令2. 3. 30	平30. 5. 6 ～平30. 6. 30 令元. 5. 8 ～令元. 9. 25	南辺築垣、掘立柱塀柱穴、溝、土採り穴
1	前橋市 上野国府等範囲内容確認調査	市教委 阿久澤智和 村越純子 齋藤 颯	平30. 12. 28 ～平31. 3. 31	平30. 5. 14 ～平30. 12. 27	古墳・住居跡3、古代・住居跡13、掘立柱建物跡10、溝跡9、道路跡3、井戸跡1、土坑、ピット、中世・近世溝跡2、井戸跡、土坑、ピット、畑跡
2	総社古墳群範囲内容確認調査	市教委 小川卓也	平31. 4. 1 ～令2. 3. 16	平31. 4. 1 ～令2. 3. 16	古墳1
3	元総社蒼海遺跡群(134)	スナガ環境測設(株) 瀧澤典雄	令元. 9. 27 ～令2. 2. 28	令元. 7. 16 ～令元. 9. 26	古墳・古代、竪穴住居跡14、古代、溝跡1、中世・近世他、溝跡2、土坑5
4	元総社蒼海遺跡群(135)	技研コンサル(株) 山田誠司	令元. 9. 25 ～令2. 3. 10	令元. 9. 5 ～令元. 9. 24	中・近世、溝跡3、井戸跡6、ピット21
5	元総社蒼海遺跡群(136)	技研コンサル(株) 山田誠司	令元. 12. 1 ～令2. 3. 27	令元. 10. 15 ～令元. 11. 29	古墳・古代・中・近世、住居跡8、建物跡3、溝跡1、焼土跡1、土坑26、ピット22
6	元総社蒼海遺跡群(137)	技研コンサル(株) 山田誠司	令2. 2. 1 ～令2. 3. 27	令元. 12. 5 ～令2. 2. 13	1区、古墳・古代・中・近世、住居跡8、溝跡1、井戸跡2、土坑19、ピット27 2区、古代・中・近世住居跡37、溝跡5、竪穴状遺構1井戸跡1、土坑19、ピット27
7	元総社蒼海遺跡群(138)	技研コンサル(株) 前田和昭	令2. 1. 7 ～令2. 3. 27	令元. 12. 16 ～令2. 1. 6	古代溝、中世溝1、堀3、ピット37
8	元総社蒼海遺跡群(139)	技研コンサル(株) 前田和昭	令元. 12. 25 ～令2. 3. 27	令元. 12. 10 ～令2. 2. 24	古代住居跡5、道路状遺構1、溝1、粘土採掘坑1、土坑2
9	天神風呂N地点遺跡	山下工業(株) 青木利文	令元. 10. 11 ～令2. 1. 31	令元. 9. 20 ～令元. 10. 10	縄文土坑、古代住居跡
10	前橋市(市役所西地点)	技研コンサル(株) 佐野良平	令元. 11. 27 ～令2. 3. 19	令元. 11. 5 ～令元. 11. 26	古代・近世・現代、竪穴住居跡1、竪穴状遺構1、溝・堀跡16、井戸14、土坑6、ピット84
11	西大室上縄引遺跡Ⅱ	山下工業(株) 青木利文	令元. 11. 3 ～令2. 2. 29	令元. 10. 15 ～令元. 11. 2	古墳土坑、竪穴建物、古代地割れ、近・現代土坑・溝
1	高崎市 中大類新井西遺跡	スナガ環境測設(株) 板垣 宏	平30. 5. 15 ～令元. 5. 31	平30. 4. 20 ～平30. 5. 12	古代水田跡、中世溝10
2	菅谷高畑遺跡2	毛野考古学研究所 春里桃子 宮本久子	平30. 11. 5 ～平31. 4. 30	平30. 10. 22 ～平30. 11. 1	古代竪穴建物跡3、土坑2
3	菅谷村前遺跡	毛野考古学研究所 春里桃子	平30. 11. 22 ～令元. 5. 31	平30. 10. 22 ～平30. 11. 9	古墳～古代土坑1、古代竪穴建物跡4、近世溝1
4	宮原町遺跡3	技研コンサル(株) 山田誠司 松村春樹	平30. 12. 28 ～令元. 9. 30	平30. 12. 4 ～令元. 6. 28	古代水田跡、中世溝7、ピット2
5	下里見宮谷戸遺跡4	毛野考古学研究所 有山径世	平31. 2. 23 ～令元. 9. 30	平31. 1. 7 ～平31. 2. 22	弥生竪穴建物跡6、古墳溝8、古代配石遺構1、中近世井戸跡1、土坑17、ピット20
6	菅谷堀之内遺跡	毛野考古学研究所 土井道昭	平31. 2. 14 ～令元. 9. 30	平31. 2. 1 ～平31. 2. 13	古墳溝3、古代土坑3、中世ピット4
7	棟高西弥三郎街道遺跡	(株)測研 大塚昌彦	平31. 3. 11 ～令元. 8. 31	平31. 1. 28 ～平31. 3. 8	縄文竪穴建物跡2、古墳竪穴建物跡6、古代竪穴建物跡3
8	倉賀野上樋越遺跡2. 3. 4	技研コンサル(株) 大野義人	平23. 2. 16 ～平23. 3. 25 平30. 5. 7 ～平31. 3. 28 平31. 4. 1 ～令2. 3. 31	平23. 4. 6 ～平23. 7. 6 平25. 8. 26 ～平26. 3. 12 平26. 11. 18 ～平27. 2. 27	古代竪穴建物跡23、掘立柱建物跡8、古代～近世溝52
9	足門石田遺跡	市教委 飯島克巳	平31. 4. 3 ～令2. 3. 31	平29. 4. 7 ～平29. 11. 21 平30. 7. 2 ～平31. 2. 19	古墳古墳1、畠跡、中世溝9

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
10	はまがわ お ふ ろ い せきよん 浜川御布呂遺跡 4	市教委 田辺芳昭	令元. 5.15 ～令2. 3.31	平30. 4.11 ～平30. 5.18	中世溝6、井戸跡1、土坑6、ピット49
11	あしかが い し だ い せき に 足門石田遺跡 2	市教委 飯島克巳	令元. 7. 4 ～令2. 3.31	令元. 6. 3 ～令元. 7. 3	古墳～古代溝2、近世井戸跡 1
12	ひやみずうし い け い せき 冷水牛池遺跡	(株)測研 大塚昌彦	令元. 7.22 ～令元.12.20	令元. 7. 1 ～令元. 7.19	古墳畠跡、古代竪穴建物跡3、土坑5
13	くら が の し も し ょ う ろ く い せき 倉賀野下正六遺跡	スナガ環境測設(株) 板垣 宏	令元. 9. 1 ～令元.11.25	令元. 6.10 ～令元. 8.31	古墳大型水路、中世畠跡、中世～近世溝23、土坑11
14	くら が の な か ま ち い せき 倉賀野中町遺跡	(株)シン技術コンサル 笠原仁史	令元.11.15 ～令2. 3.31	令元.11.11 ～令元.11.22	中世堀 1
1	きりゆう し 桐生市 あか ぼ じ ん じ ゃ ま え い せき 赤城神社前遺跡	市教委 新井雅幸	令元. 4. 1 ～令2. 3.28	平30. 5.16 ～平30. 6. 4	縄文陥し穴1、時期不明溝状遺構2・井戸跡 1
2	きりゆう し ん ま ち す い ろ あ と 桐生新町水路跡	市教委 新井雅幸	令元. 4. 1 ～令2. 3.28	平30. 8.20 ～平30. 9.26	近代水路跡
3	み し ま だ い い せき 三島台遺跡	市教委 新井雅幸	令元. 4. 1 ～令2. 3.28	平30.10.23 ～平30.10.29	縄文土坑1・縄文中期遺物包含層
4	あ ら や し き ま え い せき 新屋敷前遺跡	市教委 新井雅幸	令元. 4. 1 ～令2. 3.28	平30.11. 5 ～平30.11. 8	縄文竪穴建物跡1・土坑1・ピット2
5	きりゆう し ん ま ち す い ろ あ と 桐生新町水路跡	市教委 新井雅幸	令元. 4. 1 ～令2. 3.28	平30.11. 4 ～平2. 1. 9	近代水路跡
6	だ い ゆ う い ん ま え い せき 大雄院前遺跡	市教委 新井雅幸	令元. 4. 1 ～令2. 3.28	平31. 2.12 ～平31. 2.18	古代住居跡1・ピット2
7	た け い じ ょ う さ ん い せき 武井城Ⅲ遺跡	市教委 加部二生	令元. 4. 1 ～令2. 3.28	平29. 7.20 ～平29.10.31	奈良～平安竪穴建物7、掘立柱建物1、縄文陥し穴1、埋甕1
8	た け い み ね だ む い せき 武井峯M遺跡	市教委 加部二生	令元. 4. 1 ～令2. 3.28	平30.10.10 ～平2. 3.26	縄文前期竪穴建物2、古墳～平安竪穴建物11ほか
1	い せ き し 伊勢崎市 せん だ い せき 千木遺跡・下茂呂古墳群	(株)甲セオリツ 西川 制	令元. 9. 1 ～令2. 3.19	平30.11.10 ～平30.12. 4	古墳溝1、性格不明遺構1、近世土坑3、井戸 1
2	い せ き じ ょ う あ と 伊勢崎城跡	山下工業(株) 青木利文	令元. 9. 5 ～令2. 1.15	令元. 6. 1 ～令元. 9. 4	中世掘立柱建物3、溝3、竪穴2、土坑44、近世城堀跡2、近代建物跡6、溝1、土坑3
3	し も ろ へ こ ん ぐ ん 下茂呂古墳群	山下工業(株) 永井智教	令元.10.30 ～令2. 3.27	平29.12.14 ～平30. 3.28	古墳1、古墳竪穴建物3
4	し も ち な い せき 下湊名遺跡	(株)シン技術コンサル 岡本範之	令元.12.26 ～令2. 3.31	令元.10.28 ～令元.12.25	古墳1、古墳～古代竪穴建物22、土坑31、溝2
5	い ま い が っ ち ょ う い せき 今井学校遺跡	山下工業(株) 永井智教	令2. 1. 6 ～令2. 3.31	令元.10. 1 ～令元.12.27	古墳豪族居館1、古墳2、竪穴建物10
6	みなみはら い せき 南原遺跡	毛野考古学研究所 南田法正	令2. 3. 4 ～令2. 3.31	令元.10. 9 ～令元.12.28	縄文竪穴建物1、古墳竪穴建物1、古代竪穴建物15、縄文～古代土坑80
1	お だ た し 太田市 こまがたにんじやほにわようせき 駒形神社埴輪窯跡	市教委 遠坂純伸	平31. 4.22 ～令2. 3.31	昭62. 4. 5 ～昭62. 7. 8	古墳埴輪窯
2	い ま い ち く い せきぐん 今井地区遺跡群	市教委 岩松大輔	平31. 4.22 ～令2. 3.31	平2. 4. 9 ～平6. 4. 2	古代集落
3	お だ た し な い い せき 太田市内遺跡	市教委 長谷川幸男	平31. 4. 1 ～令2. 3.31	平30. 4. 3 ～平31. 3.30	確認調査
4	し せ き な や ま じ ょ う あ と 史跡金山城跡	市教委 宮田 毅 石原由香	平31. 4. 1 ～令2. 3.31	平18. 8. 1 ～平30. 2.19	戦国山城
5	すいとうさんどうらきろなめいけちく おおね 推定東山道駅路溜池地区・大根 にし だ い せき 西田遺跡	毛野考古学研究所 和久裕昭 志村 哲	令元.11. 5 ～令2. 3.31	令元. 5.25 ～令元.11. 1	古代道路
1	ぬまた し 沼田市 ぬまたじょうあ と 沼田城跡	市教委 向出博之 永井三郎	平31. 4. 1 ～令元.11.15	平27. 8.24 ～平27. 9.18 平28. 7.19 ～平28. 9.30	近世城郭
1	た だ ば し 館林市 お だ づ ぐ せ い せき 大袋5遺跡	市教委 宮田圭祐	平31. 4.11 ～令元. 9.30	平30. 4.21 ～平30. 5. 3	溝4、土坑3、性格不明遺構2
2	さきはら い せき 笹原遺跡	市教委 宮田圭祐	平31. 4.11 ～令元. 9.30	平30. 6. 5 ～平30. 6.19	—

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
3	にほんまついせき 二本松遺跡	市教委 宮田圭祐	平31.4.11 ～令元.9.30	平30.9.19 ～平30.10.2	—
4	しんじゆくにちようめいせき 新宿二丁目遺跡	市教委 宮田圭祐	平31.4.11 ～令元.9.30	平30.10.16 ～平30.10.23	溝1、水路跡
5	ひなたしんでんいせき 日向新田遺跡	市教委 宮田圭祐	平31.4.11 ～令元.9.30	平30.10.24 ～平30.11.1	古墳竪穴建物3
6	あおやまやしきあと 青山屋敷跡	市教委 宮田圭祐	平31.4.11 ～令元.9.30	平30.10.26 ～平30.11.2	溝1、土坑5
7	あおやまやしきあと 青山屋敷跡	市教委 宮田圭祐	平31.4.11 ～令元.9.30	平30.10.26 ～平30.11.2	土坑1
8	おかのやしきまえ おかいせき 岡野・屋敷前・岡遺跡	市教委 宮田圭祐	平31.4.11 ～令元.9.30	平31.1.16 ～平31.1.23	溝3、土坑2
9	あおやまやしきあと 青山屋敷跡	市教委 宮田圭祐	平31.4.11 ～令元.9.30	平31.1.29 ～平31.2.1	溝1、土坑2
10	ひろうちょういちいせき 広内町1遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.2.13 ～令2.3.24	平31.4.16 ～平31.4.23	溝3
11	まぼりいちいせき 間堀1遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.2.13 ～令2.3.24	令元.5.10 ～令元.5.23	土坑12
12	きたこぶくろいせき 北小袋遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.2.13 ～令2.3.24	令元.7.26 ～令元.8.1	炭焼き窯1、土坑6
13	おおかいどういせき 大街道遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.2.13 ～令2.3.24	令元.11.8 ～令元.11.15	土坑1
14	なてばやしじょうせきじょうかまち 館 林城跡・城下町	市教委 宮田圭祐	令2.2.13 ～令2.3.24	令元.11.29 ～令元.12.7	竪穴建物址1、焼成土坑1
15	おおぶくろいちいせき 大袋I遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.2.13 ～令2.3.24	令2.1.9 ～令2.1.10	—
16	てんじんいせき 天神遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.2.13 ～令2.3.24	令2.1.16 ～令2.1.25	溝3、土坑2
1	しづかわし 澁川市 こうげんじりがし いせきさん 高源地 東 遺跡3	市教委 萩原俊樹	平31.4.1 ～令2.3.31	平25.5.1 ～平25.5.22	古代竪穴建物2・竪穴状遺構1
2	はんたやくし いせきぐんきゆうちてん 半田薬師遺跡群 Q 地点	市教委 平石冬馬	平31.4.1 ～令2.3.31	平29.8.17 ～平29.8.30	竪穴建物跡1・井戸跡1・ピット8
3	ほりごめいせき 堀込遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭57.5.6	竪穴建物2・竪穴状遺構1
4	かわしま 川島こんにやく分場遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	平元.1.26 ～平元.1.31	竪穴建物1・土坑2
5	かなしましょうがっこういせき 金島小学校遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭58.8.22 ～昭58.8.31	ピット・倒木痕
6	かなしまむらだいなごうふん 金島村第7号墳	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭56.8.31 ～昭56.9.3	古墳：Hr-S下
7	さかさがわいせき 逆川遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭56.12	土坑
8	さかのしたいせき 坂之下遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭60.4.9 ～昭60.4.16	古墳：Hr-I降下後・竪穴建物・溝
9	こくぞうづかこふん 虚空蔵塚古墳	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	平9.6.11	五輪塔・軟質陶器・瓦・土人形
10	いしはらひがしこふんぐん 石原 東 古墳群	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭57.1.28	古墳2
11	く ぼかいどうしーいせき 久保貝道C遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	平7.9.7 ～平7.9.17	竪穴建物4・土坑10
12	かみありまいせき 上馬遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭60.2.18 ～昭60.2.23	弥生土器・石器
13	あたごづかいせき 愛宕塚遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭55.4.20 ～昭55.4.24	土坑1・土器棺墓1
14	ありまいせき 有馬遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭59.1.27 ～昭9.2.14	弥生土器・須恵器
15	ごりんだいらいせき 五輪平遺跡	市教委 荒木勇次	平31.4.1 ～令2.3.31	昭58.12.1	溝3

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	ふじおかし 藤岡市 しろいしきたらいせき 白石北原遺跡	市教委 文挾健太郎	平17.4.1 ～令2.3.31	平12.9.1 ～平13.2.27	縄文中期末～後期初頭環状集落
2	うした かわけち くいせきぐん 牛田・川除地区遺跡群	市教委 文挾健太郎	平31.4.1 ～令2.3.31	平30.4.13 ～平31.3.25	古墳～古代竪穴建物跡139・掘立柱建物跡1、土坑・ピット211、溝5、古代寺院3
3	さきがわえんがんち くいせきぐん 笹川沿岸地区遺跡群	市教委 針谷友規	平30.4.13 ～令2.3.31	平26.6.2 ～令2.1.31	古墳～平安集落
4	なかいち いせきびちてん 中I遺跡B地点	スナガ環境測設(株) 権田友寿	令元.9.1 ～令元.11.29	令元.6.10 ～令元.8.31	平安竪穴建物15・溝4・土坑11・ピット20
1	とみおかし 富岡市 うだまげほらいせき うだなかてらだい 宇田恵下原遺跡・宇田中寺田遺跡	市教委 清水 司	令元.4.1 ～令2.3.31	平30.5.30 ～平30.8.30	縄文竪穴建物1、古墳溝3、古代土坑5、中世溝1・土坑1・水田1
2	しせきゆうとみおかせいしじょう 史跡 旧 富岡製糸場	市教委 水谷貴之 津金澤吉茂	令元.4.1 ～令2.3.31	平24.4.1 ～平31.3.31	近現代 西置繭所周囲・旧研究所跡・水溜跡・工女寄宿舎跡・病室跡・候門所跡・煉瓦造排水溝・土管・溝跡・便所15周囲便槽外部・診療所北建物跡・囲炉裏跡・煉瓦組燃焼施設・煉瓦組便槽・コンクリート便槽・乾燥場・繭扱場・レール・軌道跡・廃棄土坑
3	とみおかつぼのうち いせき 富岡坪之内遺跡	(株)シン技術コンサル 福嶋正史	令元.10.11 ～令2.3.13	令元.9.17 ～令元.10.10	古代竪穴建物1・井戸1、中世掘立柱建物3・溝3・土坑2・柱穴67
1	あんなかし 安中市 あんなかじょうせん 安中城Ⅲ	市教委 鳥居貴庸 関根史比古	令元.5.16 ～令2.1.31	令元.5.7 ～令元.5.15	中世～近世の堀1・土塁1
2	にしよこのせいぶち くいせきぐん 西横野西部地区遺跡群	市教委 井上慎也	令元.6.3 ～令2.3.23	平25年度 ～平29年度	縄文中期集落、古代溝(牧区画)、近世妙義道等
3	にしだいいち に いせき 西台Ⅰ・Ⅱ遺跡	市教委 鳥居貴庸 関根史比古	令元.12.1 ～令2.3.31	令元.8.1 ～令元.11.30	弥生～古代の竪穴建物跡23・土坑8・溝2
1	し みどり市 ちこうやまいせきだいせきゆうちてん 向山遺跡第9地点	市教委 田口佳菜	令元.9.20 ～令2.3.31	令元.7.16 ～令元.9.19	縄文竪穴建物4以上・土坑34以上・柱穴状遺構42以上
2	あさみぬまきたいせきだいせんちてん 阿左美沼北遺跡第3地点	市教委 田口佳菜	令元.9.2 ～令2.3.31	令元.8.27 ～令元.8.30	縄文土坑2、古代竪穴建物1・柱穴状遺構5
3	ほうぞうちがい 包蔵地外	市教委 田口佳菜	令元.10.23 ～令2.3.31	令元.10.15 ～令元.10.21	縄文土坑1、古代竪穴建物跡1・土坑6以上・柱穴状遺構5
4	むこうやまいせきだいせきゆうちてん 向山遺跡第10地点	市教委 田口佳菜	令元.12.2 ～令2.3.31	令元.9.18 ～令元.11.29	縄文竪穴建物2、土坑8以上・柱穴状遺構27以上
5	ほうぞうちがい 包蔵地外	市教委 田口佳菜	令2.2.3 ～令2.3.31	令2.2.3 ～令2.3.2	古代竪穴建物3・土坑6・柱穴状遺構11
1	かんらまち 甘楽町 にいやいせき 新屋遺跡	町教委 中村岳彦	令2.2.17～	令元.11.11 ～令2.2.13	縄文中期竪穴建物1、弥生中期土坑2・後期竪穴建物8、古墳後期竪穴建物18・土坑3、古代竪穴建物6
1	ひがしあがつままち 東吾妻町 あつたなかむらいせき 厚田中村遺跡	町教委 吉田智哉	令元.12.20 ～令2.2.21	令元.10.1 ～令元.11.4	古代竪穴建物、古代掘立柱建物、古代柱穴列、古代土坑、古代ピット、近世土坑
1	しょうわむら 昭和村 いらいみやのまえ いせき 糸井宮ノ前遺跡	村教委 石北直樹	令2.4.1 ～令3.3.30	平7.4.1 ～平7.7.30 平8.8.1 ～平8.9.30 平9.8.11 ～平9.12.20	縄文竪穴建物5、縄文土坑82、古墳竪穴建物35、奈良・平安竪穴建物33、小鍛冶1
1	たまむらまち 玉村町 しやうじまこふん 社宮島古墳	町教委 中島直樹 毛野研 志村 哲	令元.7.12 ～令2.3.26	昭51.8.14 ～昭51.8.17	古墳1基
2	いなりぎにこうこふん 稲荷木1号古墳	町教委 中島直樹 毛野研 志村 哲	令元.7.12 ～令2.3.26	昭52.5.6 ～昭52.5.8	古墳1基
3	いなりぎにこうこふん 稲荷木2号古墳	町教委 中島直樹 毛野研 志村 哲	令元.7.12 ～令2.3.26	昭52.5.4 ～昭52.5.6	古墳1基

※群馬県埋蔵文化財調査事業団の整理事業は「Ⅱ事業概要2 整理事業概要」参照

3 令和元年度群馬県内報告書一覧

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
1	群馬県教育委員会 文化財保護課 平成30年度 県内遺跡発掘調査報告書	県内遺跡	平成30年度 群馬県内公共開発に伴う県内遺跡発掘調査報告	令2.3.31
1	群馬県埋蔵文化財調査事業団 大島田Ⅱ遺跡・沼田遺跡	同左	<大島田Ⅱ遺跡>江戸中期・復旧坑17、土坑群1、溝2、水田 <沼田遺跡>江戸中期・復旧坑10、溝3、ピット群1、木杭列1、水田	令元.7.3
2	川原湯勝沼遺跡(3)	川原湯勝沼遺跡	中世・土坑9、畑1 近世・溝5、道1、畑20、集石7、平坦面26	令元.8.30
3	中室田岩城遺跡	同左	縄文早期・屋外炉1、土坑1 縄文中期・竪穴建物3、土坑2、河道1 時期不明・土坑29、柵1、ピット22	令元.11.26
4	下芝内出畑遺跡・和田山天神前2遺跡	同左	<下芝内出畑遺跡>奈良平安・竪穴建物7、掘立柱建物4、土坑19、溝3、ピット48、製鉄炉5、畠2、水田1 中近世・土坑16、溝1、ピット47 <和田山天神前2遺跡>時期不明・ピット3	令元.12.19
5	金井東裏遺跡(11区他)	同左	弥生・竪穴建物2 古墳・竪穴建物1、土坑1、ピット1、馬蹄跡16 近世・土坑2、溝1	令2.2.21
6	糸里制水田想定地	同左	古代・竪穴建物1、井戸1、土坑4 中近世・土坑2、溝3 近世・土坑1 時期不明・井戸1、土坑7、溝3	令2.2.25
7	中栗須邸前遺跡(22包蔵地)	同左	古墳～奈良平安・竪穴建物29、掘立柱建物2、竪穴状遺構5、土坑57 近世・溝16、ピット254	令2.3.10
8	三平Ⅰ遺跡(2)	三平Ⅰ遺跡	縄文・竪穴建物4、土坑49、ピット23 古代・竪穴建物6、土坑49 中近世・掘立柱建物2、土坑19、柱穴列2、溝3、焼土遺構1、ピット122、石垣1、畑3	令2.2.21
9	下田遺跡(3)	下田遺跡	縄文～弥生・土坑8 平安・竪穴建物15、土坑5 中近世・建物21、竪穴状遺構1、井戸1、土坑202、溝7、柵5、焼土遺構7、ピット713、道9、土坑墓12、畑62	令2.3.10
10	下湯原遺跡(2)	下湯原遺跡	縄文(4面)・土坑4、焼土2、ピット1 縄文～平安(3面)・掘立柱建物3、土坑74、溝13、焼土1、ピット44、墓4、畑1、甕壇状遺構 平安～天明泥流以前(2面)・竪穴建物1、土坑48、溝27、焼土12、ピット40、畑、集石 近世(1面)・建物2、厠(便槽)2、土坑19、溝2、焼土2、ピット1、道2、土手、石垣、ヤックラ、墓5、屋外炉2、木枠、粘土採掘坑、畑	令2.3.10
11	林宮原遺跡(2)・林中原Ⅰ遺跡(2)・中棚Ⅱ遺跡(2)	同左	<林宮原遺跡(2)>縄文後期初頭の包含層 <林中原Ⅰ遺跡(2)>縄文早期後葉及び後期前葉の土坑、中世～近世の掘立柱建物群 <中棚Ⅱ遺跡(2)>浅間山天明泥流災害畑跡並びに復旧坑、平安集落、縄文後期水場遺構 他	令2.3.18
12	四戸遺跡	同左	縄文前期・竪穴建物1、土坑4 弥生・竪穴建物19、竪穴遺構1、土坑 古墳・竪穴建物94、土坑 古代・竪穴建物54、竪穴遺構1、掘立柱建物8、土坑、ピット、畠、水田 中世・掘立柱建物2、井戸1、土坑、溝、柱穴列1、ピット、墓壇2、鍛冶遺構1、畠	令2.3.16
1	前橋市 上野国府跡	上野国府	古墳・住居跡3、古代・住居跡13、掘立柱建物跡10、溝跡9、道路跡3、井戸跡1、土坑、ピット、中世・近世、溝跡2、井戸跡、土坑、ピット、畑跡	令2.3.16
2	総社古墳群範囲内容確認調査 報告書Ⅰ 一遠見山古墳の調査一	同左	古墳1	令2.3.16

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
3	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(134)	同左	古墳・古代、竪穴住居跡14、古代、溝跡1、中世・近世他、溝跡2、土坑5	令2.2.28
4	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(135)	同左	中・近世、溝跡3、井戸跡6、ピット21	令2.3.10
5	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(136)	同左	古墳・古代・中・近世、住居跡8、建物跡3、溝跡1、焼土跡1、土坑26、ピット22	令2.3.27
6	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(137)	同左	1区、古墳・古代・中・近世、住居跡8、溝跡1、井戸跡2、土坑19、ピット27 2区、古代・中・近世住居跡37、溝跡5、竪穴状遺構1井戸跡1、土坑19、ピット27	令2.3.27
7	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(138)	同左	古代溝、中世溝1、堀3、ピット37	令2.3.27
8	もとそうじやおうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(139)	同左	古代住居跡5、道路状遺構1、溝1、粘土採掘坑1、土坑2	令2.3.27
9	てんじん ぶ めいぬちてん いせき 天神風呂N地点遺跡	同左	縄文土坑3、古代竪穴建物6、土坑11、ピット1、近世以降溝	令2.3.2
10	まえはしじょうしやくしよにしちてん 前橋城(市役所西地点)	同左	古代・近世・現代、竪穴住居跡1、竪穴状遺構1、溝・堀跡16、井戸14、土坑6、ピット84	令2.3.19
11	にしおむろわかみなわびき いせき に 西大室上縄引遺跡Ⅱ	同左	古墳土坑、竪穴建物、古代地割れ、近・現代土坑・溝	令2.3.31
1	たかさし 高崎市 すがやたかほたい いせき に 菅谷高畑遺跡2	同左	古代竪穴建物跡3、土坑2	令元.4.30
2	なかおむろいあらいにし いせき 中大類新井西遺跡	同左	古代水田跡、中世溝10	令元.5.31
3	すがやむらまゑ いせき 菅谷村前遺跡	同左	古墳～古代土坑1、古代竪穴建物跡4、近世溝1	令元.5.31
4	むねたかにしやきぶろうかいどう いせき 棟高西弥三郎街道遺跡	同左	縄文竪穴建物跡2、古墳竪穴建物跡6、古代竪穴建物跡3	令元.8.31
5	みやほらまち いせきさん 宮原町遺跡3	同左	古代水田跡、中世溝7、ピット2	令元.9.30
6	しもさとみやみかいつい いせきよん 下里見宮谷戸遺跡4	同左	弥生竪穴建物跡6、古墳溝8、古代配石遺構1、中近世井戸跡1、土坑17、ピット20	令元.9.30
7	すがやほりのうち いせき 菅谷堀之内遺跡	同左	古墳溝3、古代土坑3、中世ピット4	令元.9.30
8	くらが のしもしょうろく いせき 倉賀野下正六遺跡	倉賀野甲下正六遺跡	古墳大型水路、中世畠跡、中世～近世溝23、土坑11	令元.11.25
9	ひやみずうしけい いせき 冷水牛池遺跡	同左	古墳畠跡、古代竪穴建物跡3、土坑5	令元.12.20
10	しな いせき 市内遺跡	同左	市内確認・試掘調査、工事立会	令2.3.20
11	おふろ いせきさん 御布呂遺跡4	浜川御布呂遺跡4	溝6、井戸跡1、土坑6、ピット49	令2.3.26
12	くらが のかみわてい いせきに さん よん 倉賀野上樋越遺跡2. 3. 4	同左	古代竪穴建物跡23、掘立柱建物跡8、古代～近世溝52	令2.3.31
13	あしかた いしだい いせき 足門石田遺跡	同左	古墳時代古墳1、畠跡、中世溝9	令2.3.31
14	あしかた いしだい いせきに 足門石田遺跡2	同左	古墳～古代溝2、近世井戸跡1	令2.3.31
15	くらが のなかまち いせき 倉賀野中町遺跡	同左	中世堀1	令2.4.30
1	まりゆう し 桐生市 桐生市内遺跡発掘調査報告 —平成29・30年度調査— へいせい ねん どりょうき (桐生市文化財調査報告書第40集)	武井城Ⅲ遺跡、富士見ヶ丘2遺跡、武井峯M遺跡、桐生市内遺跡確認調査	縄文竪穴建物3、古墳～平安竪穴建物18・竪穴遺構1、土坑1、時期不明溝状遺構1	令2.3.15
1	いせきし 伊勢崎市 伊勢崎城跡2	伊勢崎城跡	中世掘立柱建物3、溝3、竪穴建物2、土坑44、近世城堀跡2、近代建物跡6、溝1、土坑3	令2.1.15
2	へいせい ねん どりょうき 平成29年度市内遺跡確認調査報告書	北口遺跡外48遺跡	確認調査等	令2.2.28

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
3	せんぎいせき しもろろこふんぐんに 千木遺跡・下茂呂古墳群 2	千木遺跡・下茂呂古墳群	古墳溝1、性格不明遺構1、近世土坑3、井戸1	令2.3.19
4	しもろろこふんぐんいち 下茂呂古墳群 1	下茂呂古墳群	古墳1、古墳竪穴建物3	令2.3.27
1	おおたし 太田市 市内遺跡15	同左	平成30年度の市内遺跡確認調査	令2.3.19
2	しせきかなやまじょうあと 史跡金山城跡	同左	平成18年度～平成29年度に実施した大手道の内容確認調査と総括	令2.3.31
3	すいていとうさんびのみきろたぬいけちく おおねにしだい 推定東山道駅路溜池地区・大根西田遺跡	同左	工業団地拡張工事に伴う発掘調査	令2.3.31
1	ぬまたし 沼田市 沼田城跡2 沼田公園長期整備構想に伴う沼田城跡発掘調査報告書(平成27年度、28年度調査)	沼田城跡	近世堀1、近世集石遺構1、近世石組遺構1、近世ピット28、近代以降道1、時期不明土坑1	令元.11.15
1	たてばやし 館林市 館林市内遺跡発掘調査報告書	大袋5遺跡	溝4、土坑3、性格不明遺構2	令元.9.30
		笹原遺跡	—	令元.9.30
		二本松遺跡	—	令元.9.30
		新宿二丁目遺跡	溝1、水路跡	令元.9.30
		日向新田遺跡	古墳住居3	令元.9.30
		青山屋敷跡	溝1、土坑5	令元.9.30
		青山屋敷跡	土坑1	令元.9.30
		岡野・屋敷前・岡遺跡	溝3、土坑2	令元.9.30
		青山屋敷跡	溝1、土坑2	令元.9.30
1	しほかわし 渋川市 渋川市内遺跡13	有馬条里跡	平成30年度市内遺跡範囲確認調査・試掘調査報告	令2.3.19
		銭神遺跡		
		坂下町古墳群		
		八崎大宮遺跡		
		坂下遺跡		
		津久田高梨北原遺跡		
		谷津遺跡		
		田尻遺跡		
		吹屋糞屋遺跡		
		日焼田古墳群		
		金井諏訪古墳		
		半田薬師遺跡群		
		半田剣城遺跡群		
1	しほかわし 渋川市 渋川市内遺跡13	有馬条里跡(八木原沖田)	平成30年度市内遺跡範囲確認調査・試掘調査報告	令2.3.19
		南雲鉦沢遺跡		
		K0085遺跡		
2	はんたやくししいせきぐんきゆうちてん 半田薬師遺跡群 Q 地点	半田薬師遺跡群 Q 地点	平成29年度市内遺跡本発掘調査	令2.3.19
3	こうげんじりがいせきさん 高源地 東 遺跡3	高源地東遺跡3	竪穴建物2、竪穴状遺構1等	令2.3.31
4	しほかわちくいせきちようさほうこくいち 渋川地区遺跡調査報告1	堀込遺跡	昭和55年度～平成9年度調査遺跡の整理報告	令2.3.31
		川島こんにやく分場遺跡		

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
4	しづかわちく いせきちようきほうこくいち 渋川地区遺跡調査報告 1	金島小学校遺跡	昭和55年度～平成9年度調査遺跡の整理報告	令2.3.31
		金島村第7号墳		
		逆川遺跡		
		坂之下遺跡		
		虚空蔵塚古墳		
		石原東古墳群		
		久保貝道C遺跡		
		上有馬遺跡		
		愛宕塚遺跡		
		有馬遺跡		
5輪平遺跡				
1	ふじおかし 藤岡市 なかいち いせきびーちてん C63 中I遺跡B地点	中I遺跡B地点	JAたのふじ統合新支所新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査	令元.11.29
2	しんない いせきひつやく 市内遺跡2・6		平成31年度(令和元年度)市内開発に伴う試掘確認調査	令2.3.13
3	うしたはいじあと ほつくつちようきがいようほうこくしよ 牛田廃寺跡 発掘調査概要報告書	牛田廃寺跡	県営農業基盤整備事業に伴う文化財発掘調査の概要報告	令2.3.13
4	しろいしきたはらいせきじようもんじだいへん に F36 白石北原遺跡(縄文時代編2)	白石北原遺跡	平成13・14年度藤岡市埋蔵文化財収蔵庫(藤岡歴史館)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	令2.3.31
1	とみおかし 富岡市 うだなからだいせき うだえげほらいせきに 宇田中寺田遺跡 宇田恵下原遺跡Ⅱ うだ いちのみやちく いせきぐんいち 宇田・一ノ宮地区遺跡群Ⅰ	宇田恵下原遺跡・宇田中寺田遺跡	縄文竪穴建物1、古墳溝3、古代土坑5、中世溝1・土坑1、水田1	令2.3.26
2	とみおかつほのうち いせきざん 富岡坪之内遺跡Ⅲ	富岡坪之内遺跡	古代竪穴建物1・井戸1、中世掘立柱建物3・溝3・土坑2・柱穴67	令2.3.13
1	あんなかし 安中市 にしよこのせいぶちく いせきぐん 西横野西部地区遺跡群	同左	縄文中期集落、古代溝(牧区画)、近世妙義道等	令2.3.23
2	あんなかじようざん 安中城Ⅲ	同左	中世～近世の堀・土塁	令2.3.31
1	しもにたまち 下仁田町 こんごうかやいせき きゆうせつふんか 金剛萱遺跡の旧石器文化5 —2019—	金剛萱遺跡	金剛萱遺跡研究会が実施した旧石器時代の遺跡調査に関わる報告書 旧石器時代前半期の石器41点が出土	令2.3.31
1	ひがしあつたまち 東吾妻町 あつたなかむらに いせき 厚田中村2遺跡	厚田中村遺跡	古代竪穴建物、古代掘立柱建物、古代柱穴列、古代土坑、古代ピット、近世土坑	令2.3.19
1	たまむらまち 玉村町 しゃぐうじまごふん いなりぎいち にごうこふん 社宮島古墳 稲荷木1・2号古墳	社宮島古墳	古墳1基	令2.3.26
2	しゃぐうじまごふん いなりぎいち にごうこふん 社宮島古墳 稲荷木1・2号古墳	稲荷木1号古墳	古墳1基	令2.3.26
3	しゃぐうじまごふん いなりぎいち にごうこふん 社宮島古墳 稲荷木1・2号古墳	稲荷木2号古墳	古墳1基	令2.3.26

4 令和元年度群馬県内県内現地説明会・関連行事一覧

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	群馬県教育委員会 文化財保護課 上野国分寺跡現地説明会	前橋市元総社町、 高崎市引間町・東 国分町	令和. 9. 15	県教委	上野国分寺跡追加調査に関する現地説 明会	203
2	歴史講演会	高崎市国府公民館	令和. 10. 13	県教委	「上野国分寺の創建と変遷を考える」	21
1	前橋市 「大室古墳(つか)の語り 部」による古墳案内	大室公園・大室古 墳群	平31. 4. 6 ほか24回	市教委	市民ボランティア解説員による大室古 墳群案内	453
2	大室古墳群公開・普及イ ベント2019	大室公園	令和. 6. 2	前橋市・市教委	県主催「群馬古墳フェスタ2019」と共催 し、古代体験やスタンプラリー等を行 う。	25,000 (県と の合計)
3	上細井中西部遺跡群 No. 2 現地説明会	上細井地内発掘現 場プレハブ事務 所、発掘現場	令和. 12. 15	市教委	発掘された遺物の展示と解説。発掘現 場の見学	62
4	新出土文化財展2019	臨江閣	令和. 11. 6 ～令和. 11. 21	市教委	平成30年度発掘調査における出土品の 展示	2,246
5	前橋・高崎連携事業文化 財展(前橋会場)	K'BIX元気21まえ ばし	令2. 1. 8 ～令2. 1. 14	前橋市・市教委	「前橋・高崎発掘物語 ー文化財を未 来へつなぐー」のタイトルで出土品や 遺物を展示	2,470
6	元総社蒼海遺跡群(133)現 地説明会	発掘現場	令和. 9. 7	市教委	発掘調査現場の見学。出土遺物の展示。	63
1	高崎市 漆山古墳現地説明会	下佐野町	令和. 9. 1	市教委・専修大 学	古墳時代古墳	70
2	上野国分尼寺跡現地説明 会	東国分町	令和. 9. 15	市教委	回廊跡規模確定等	226
3	下滝遺跡群現地説明会	下滝町	令和. 12. 1	市教委	古墳竪穴建物跡等	96
4	前橋・高崎連携事業文化 財展	高松町	令2. 1. 18 ～令2. 1. 26	高崎市教委 前橋市教委	令和元年度テーマ 「前橋・高崎発掘物語 ー文化財を未 来へつなぐー」	885
1	伊勢崎市 パネル展ー宮柴前遺跡ー	市清掃リサイクル センター 21	平31. 4. 1 ～令2. 3. 31	市教委	天明3年の浅間山大噴火により埋没し た水田、畑、水路、人の足跡等の写真 パネルを展示	
2	いせさき発掘！ ー令和 初発掘調査成果展ー	スマーク伊勢崎ス マークホール	令和. 9. 14 ～令和. 9. 16	市教委	近年の発掘調査を行った遺跡を中心に 出土遺物やパネルを展示	1,742
3	埋蔵文化財パネル展「伊勢 崎市の遺跡・古代寺院編」	赤堀歴史民俗資料 館	令和. 10. 12 ～令和. 11. 10	市教委	上野国佐位郡正倉跡のパネルを展示	560
4	埋蔵文化財パネル展「伊勢 崎市の遺跡・古代寺院編」	市民サービスセン ター宮子	令和. 11. 18 ～令和. 12. 22	市教委	上野国佐位郡正倉跡のパネルを展示	3,517
5	埋蔵文化財パネル展「伊勢 崎市の遺跡・古代寺院編」	市役所東館 1 F 市 民ホール	令2. 1. 27 ～令2. 2. 7	市教委	上野国佐位郡正倉跡のパネルを展示	900
1	太田市 出前考古学教室	太田市立太田中学 校	令和. 7. 23	市教委	古代の太田市	105
2	出前考古学教室	休泊行政センター	令和. 7. 23	市教委	塚廻りと太田の古墳	45
3	出前考古学教室	九合行政センター	令和. 9. 20	市教委	古墳からみる九合の歴史	68
4	推定東山道駅路溜池地区 発掘調査現地説明会	太田市新田溜池 町、新田上中町地 内	令和. 9. 29	市教委	道路遺構約200m他	297
5	出前考古学教室	宝泉行政センター	令和. 10. 24	市教委	太田の歴史・宝泉の歴史	69

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
6	埋蔵文化財最新情報展	史跡金山城ガイダンス施設	令和.11.23 ～令和2.3.1	市教委	岩松郷のはじまり ～やはたの神がいたるまで～	6,454
1	^{ぬまたし} 沼田市 沼田城跡発掘調査現地説明会	沼田公園	令和.12.8	市教委	令和元年度発掘調査の状況の説明・見学会	227
2	第1回夏休み子ども体験教室「勾玉を作ってみよう！」	沼田市歴史資料館	令和.8.18	沼田市歴史資料館	小学生対象の勾玉作り教室	12
3	第6回企画展 沼田の弥生集落	沼田市歴史資料館	令和2.3.5 ～令和2.3.8	沼田市歴史資料館	日影平遺跡の環壕集落を中心に、沼田市内の弥生時代を紹介	56
1	^{しづかわし} 渋川市 出張！夏休み子ども文化財教室	中央公民館、伊香保公民館、小野上公民館、子持公民館、赤城公民館、渋川市埋蔵文化財センター	令和.7.23 ～令和.7.29 令和.8.1 ～令和.8.3	市教委	勾玉・円筒埴輪形キーホルダー・縄文施文キーホルダー	205
2	連続講座「噴火によって埋没した遺跡」全5回	渋川市埋蔵文化財センター	①令和.6.22 ②令和.7.20 ③令和.9.7 ④令和.11.30 ⑤令和.2.1	市教委	①「考古遺跡からまなぶ噴火災害ー日本と欧米の火山と被災遺跡みてあるきー」②「黒井峯遺跡」③「中筋遺跡」④「金井遺跡群」⑤「片貝家ノ下遺跡」	397
3	榛名の噴火痕跡を探る山巡りと黒井峯遺跡VR体験ツアー	榛名山二ツ岳周辺及び黒井峯遺跡	令和.4.20 令和.5.11 令和.5.25	市教委	榛名山二ツ岳周辺の噴火痕跡巡り・黒井峯遺跡でのVR（バーチャルリアリティ）体験（群馬県公式アプリ「黒井峯タイムトラベル」）	40
5	第19回縄文まつり	北橘歴史資料館	令和.10.5	第19回縄文まつり実行委員会	火おこし体験、石皿・磨石で粉ひき体験、鹿狩り体験、勾玉作り他	339
6	古代米づくり体験教室	半田早尾神社西端の水田、古巻公民館	令和.7.6 令和.11.9 令和.12.7	古代米作り体験教室実施委員会	古代米の田植え、稲刈り、収穫祭	99
1	^{ふじおかし} 藤岡市 夏季企画展「埴輪の匠、藤岡にあらわるー埴輪づくりの窯をさぐるー」	藤岡歴史館	令和.7.27 ～令和.9.16	市教委	本郷と猿田の、藤岡市内に存在する2箇所の埴輪窯出土資料を中心に展示	2,766
2	体験教室「はにわをつくらう」	藤岡歴史館	令和.8.3	市教委	夏季企画展関連行事として、小学生を対象として粘土を使った埴輪づくり体験を実施	23
3	講演「ぐんまの埴輪を考えるー藤岡地域の古墳と埴輪窯を中心にー」	藤岡歴史館	令和.8.31	市教委	夏季企画展関連行事として、群馬県立歴史博物館館長である右島和夫氏による特別講演会を実施	58
4	秋季企画展「蚕種（たまご）と風穴（れいぞうこ）ー絹の向上と量産へのあゆみー」	藤岡歴史館	令和.10.14 ～令和.12.1	市教委	世界文化遺産登録5周年を記念した、高山社跡と荒船風穴（下仁田町）との深い関係性を紹介する展示	1,730
5	春季企画展「サンカクモンとコウジモンー土器が語る弥生時代のふじおかー」	藤岡歴史館	令和2.3.22 ～令和2.5.17 （コロナの影響により 令和2.4.1 ～令和2.4.13のみ開館）	市教委	群馬県指定重要文化財である沖Ⅱ遺跡出土遺物を中心に、縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての展示	731
1	^{とみおかし} 富岡市 富岡市内出土品展	市立美術博物館	令和2.2.7 ～令和2.2.16	市教委	令和元年度の市内の発掘調査及び整理作業の速報展、遺跡説明会・体験コーナーの併設	846

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
2	富岡製糸場出土品特別展	富岡製糸場 東置繭所	令元. 11. 15 ～令元. 12. 1	市教委	富岡製糸場発掘調査出土品・調査写真パネル・説明パネルの展示、展示説明会	17,140
3	ふるさと歴史ウォーク	額部地区	令2. 11. 23	市教委	額部地区の文化財を巡る	48
4	旧茂木家住宅つつじ祭り	宮崎公園	令2. 4. 13	市教委	宮崎公園内のつつじの見学、旧茂木家住宅の説明会	300
5	旧茂木家住宅企画展	旧茂木家住宅	令2. 4. 9 ～令2. 5. 26 (春) 令2. 10. 22 ～令2. 12. 22 (秋)	市教委	富岡市の中世	915
1	<small>あんなかし</small> 安中市 国指定史跡築瀬二子塚古墳特別公開・現地解説	安中市築瀬	令元. 11. 16	市教委	古墳の公開・解説	180
1	<small>みどりし</small> 岩宿遺跡70周年特別展 ①『相澤忠洋―その生涯と研究―』	岩宿博物館企画展示室	令元. 4. 27 ～令元. 7. 15	市教委(岩宿博物館)	岩宿遺跡の発見者である相澤忠洋の生涯と考古学研究成果を取り上げ、展示した。	7,418
2	岩宿フォーラム2019	①明治大学 ②みどり市笠懸公民館	①令元. 9. 8 ②令元. 11. 2 ～令元. 11. 3	市教委(岩宿博物館)・岩宿フォーラム実行委員会・明治大学	岩宿遺跡70周年を記念して明治大学博物館と協力し、「岩宿遺跡と日本列島の旧石器時代研究」をテーマに明治大学とみどり市の2箇所で開催した。	①146 ②104
3	岩宿遺跡70周年特別展 ②『岩宿遺跡と日本の近代考古学』	岩宿博物館企画展示室	令元. 10. 5 ～令元. 11. 24	市教委(岩宿博物館)	近代考古学の発展の中で「時代」を決定づけた遺跡を中心に取り上げ、岩宿遺跡を位置づけた。	3,612
4	岩宿ムラ収穫祭り	岩宿博物館・西鹿田中島遺跡	令元. 11. 10	市教委・岩宿博物館	史跡岩宿遺跡と史跡西鹿田中島遺跡の連携を図るとともに、遺跡が使用された当時の生活(弓矢、古代料理等)を体験する。	1,893
5	岩宿遺跡70周年特別展 ③『岩宿遺跡と群馬の考古学』	岩宿博物館企画展示室	令2. 2. 1 ～令2. 3. 1	市教委(岩宿博物館)	群馬県内における考古学研究とともに、岩宿遺跡の意義と相澤忠洋の研究活動を振り返る。	918
1	<small>ひがしあがつままち</small> 東吾妻町 岩櫃城跡・第3回岩櫃城フォーラム	東吾妻町コンベンションホール	平31. 2. 24	東吾妻町・町教委	岩櫃城の城下町と主に武田氏領国内の城館・城下町を中心としたフォーラム	254
1	<small>しょうわむら</small> 昭和村 第60回昭和村文化祭	昭和村公民館	令2. 11. 22 ～令2. 11. 23	昭和村公民館・昭和村文化協会	昭和村の原始・古代	128
1	<small>たまむらまち</small> 玉村町 埴輪作り教室	玉村町文化センター	令元. 7. 23	町教委(玉村町歴史資料館)	小学生対象作品制作(7. 23)作品展示(8. 15～8. 18)	38
2	勾玉作り教室	玉村町文化センター	令元. 8. 7	町教委(玉村町歴史資料館)	小学生対象勾玉作り教室	59
3	アンギン編み教室	玉村町文化センター	令元. 8. 21	町教委(玉村町歴史資料館)	小学生対象アンギン編み教室	17
4	火おこし体験	玉村町文化センター	令元. 10. 20	町教委(玉村町歴史資料館)	玉村町文化センターまつり内行事	100
5	玉村ふるさとわくわくスタンプラリー	玉村町内	令元. 7. 6 ～令2. 2. 23	町教委(玉村町歴史資料館)	玉村町内郷土芸能と歴史資料館・道の駅玉村宿をめぐるスタンプラリー	—

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 年報39

令和3(2021)年1月31日 発行
編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
〒377-8555 渋川市北橘町下箱田784番地2
電話 0279-52-2511 (代表)
URL <http://www.gunmaibun.org/>



公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

表紙解説

古代寺院とみられる建物跡 (本郷満行原遺跡 高崎市)

高崎市本郷町所在の榛名木戸神社周辺は以前から古代瓦の散布地として知られ、古代寺院の存在が推定されてきた。この榛名木戸神社の隣接地に計画された西毛広域幹線道路の建設に伴い、平成29年度から令和2年度にかけて本郷満行原遺跡の発掘調査が実施された。

平成29年度から31年度にかけて行われた発掘調査では、桁行2.62m・梁行3.28～3.37mを測る2間×2間の総柱礎石建物と構造不詳の建物跡が検出された。総柱建物の基礎部分は総地業により地盤改良がなされていたが、掘込地業の築土中には多量の礫や瓦片が混在していた。構造不詳の建物跡の雨落ち溝からは、瓦と門扉の八双金具もしくは壺金具と考えられる鉄製品と乳金物が出土している。周辺遺構からは銅印(印面「吉」)、銅製巡方、瓦類、円面硯、墨書土器など多数の遺物が出土しており、古代寺院の存在を確実にしている。

本遺跡西の本郷鶴楽遺跡(平成30年度調査)では二重の方形区画に囲まれた掘立柱建物跡、小金銅仏、経筒蓋などが出土している。

